

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人真宗大谷学園

## (2) 大学名

大谷大学

## (3) 調査対象大学等の位置

〒603-8143  
京都府京都市北区小山上総町20番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(タジマ ヒロシ) 但馬 弘 (平成28年12月19日)		
学長	(キゴシ ヤスシ) 木越 康 (平成28年4月1日)		
学部長	(セキグチ トシミ) 関口 敏美 (平成30年4月1日)	(モリタ ヒロユキ) 森田 裕之 (令和2年4月1日)	任期満了のため 令和2年4月1日 (2)
学科長等	(トミオカ リョウシュウ) 富岡 量秀 (平成30年4月1日)	(カワキタ ノリコ) 川北 典子 (令和2年4月1日)	任期満了のため 令和2年4月1日 (2)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 令和2年度に報告済の内容 → (2)

令和3年度に報告する内容 → (3)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載してください。その場合別ファイルを作成し提出してください。
- ・ 様式は、平成29年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和2年度までの5年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
教育学部 教育学科 学士（教育学）	教育学・保育学関係	4年	130人	— 年次人	520人		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	— ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	130 ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	130 ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	130 ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	130 ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	1.02 倍	一倍	
志願者数	— ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	1088 ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	1309 ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	1220 ( 2 ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	709 ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]			
受験者数	— ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	1057 ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	1289 ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	1181 ( 2 ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	688 ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]			
合格者数	— ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	313 ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	346 ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	348 ( 2 ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	467 ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]			
B 入学者数	— ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	140 ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	140 ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	121 ( 2 ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	134 ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]			
入学定員超過率 B/A	—		1.07		1.07		0.93		1.03				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ （ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、（（ ）書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和3年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	-	-	140	-	140	-	123	-	135	-	2020年度編入生 第4学年2名
	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	(2)	(-)	(1)	( - )	
2年次	-	-	-	-	139	-	138	-	122	-	
	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	(1)	(-)	
3年次	-	-	-	-	-	-	139	-	137	-	
	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	(2)	(-)	
4年次	-	-	-	-	-	-	-	-	136	-	
	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	(-)	(-)	
計	-	-	140	-	279	-	400	-	530	-	
	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	(2)	( - )	(4)	( - )	

・令和3年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載してください。その場合別ファイルを作成し提出してください。
- ・ 様式は、平成29年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和2年度までの5年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
教育学部 教育学科 初等教育コース 学士（教育学）	教育学・保育学関係	4年	50人	— 年次人	200人		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	— (—) [—]	— (—) [—]	50 (—) [—]	— (—) [—]	50 (—) [—]	— (—) [—]	50 (—) [—]	— (—) [—]	50 (—) [—]	— (—) [—]	1.08倍	一倍	
志願者数	— (—) [—]	— (—) [—]	604 (—) [—]	— (—) [—]	753 (—) [—]	— (—) [—]	681 (—) [—]	— (—) [—]	418 (—) [—]	— (—) [—]			
受験者数	— (—) [—]	— (—) [—]	589 (—) [—]	— (—) [—]	740 (—) [—]	— (—) [—]	655 (—) [—]	— (—) [—]	404 (—) [—]	— (—) [—]			
合格者数	— (—) [—]	— (—) [—]	172 (—) [—]	— (—) [—]	199 (—) [—]	— (—) [—]	199 (—) [—]	— (—) [—]	242 (—) [—]	— (—) [—]			
B 入学者数	— (—) [—]	— (—) [—]	61 (—) [—]	— (—) [—]	59 (—) [—]	— (—) [—]	43 (—) [—]	— (—) [—]	53 (—) [—]	— (—) [—]			
入学定員超過率 B/A	—		1.22		1.18		0.86		1.06				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ （ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、（（ ）書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和3年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	-	-	61	-	59	-	44	-	53	-	
	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	(1)	( - )	( - )	( - )	
2年次	-	-	-	-	61	-	58	-	44	-	
	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	(1)	(-)	
3年次	-	-	-	-	-	-	60	-	55	-	
	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	(-)	(-)	
4年次	-	-	-	-	-	-	-	-	60	-	
	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	(-)	(-)	
計	-	-	61	-	120	-	162	-	212	-	
	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	(1)	( - )	(1)	(1)	

・令和3年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載してください。その場合別ファイルを作成し提出してください。
- ・ 様式は、平成29年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和2年度までの5年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
教育学部 教育学科 幼児教育コース 学士（教育学）	教育学・保育学関係	4年	80人	— 年次人	320人		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）」）の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区分	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	— ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	80 ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	80 ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	80 ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	80 ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	0.99倍	一倍	
志願者数	— ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	484 ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	556 ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	539 ( 2 ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	291 ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]			
受験者数	— ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	468 ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	549 ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	526 ( 2 ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	284 ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]			
合格者数	— ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	141 ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	147 ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	149 ( 2 ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	225 ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]			
B 入学者数	— ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	79 ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	81 ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	78 ( 2 ) [ — ]	— ( — ) [ — ]	81 ( — ) [ — ]	— ( — ) [ — ]			
入学定員超過率 B/A	—		0.98		1.01		0.97		1.01				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ ( ) 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [ ] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和3年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	-	-	79	-	81	-	79	-	82	-	2020年度編入生 第4学年2名
	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	(1)	( - )	(1)	( - )	
2年次	-	-	-	-	78	-	80	-	78	-	
	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	
3年次	-	-	-	-	-	-	79	-	82	-	
	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	(2)	( - )	
4年次	-	-	-	-	-	-	-	-	76	-	
	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	
計	-	-	79	-	159	-	238	-	318	-	
	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	(1)	( - )	(3)	( - )	

・令和3年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成29年度	- 人	- 人	平成29年度	- 人	- 人	
平成30年度	140 人	1 人	平成29年度	- 人	- 人	
			平成30年度	1 人	0 人	学生個人の心身に関する事情(1人)
令和元年度	279 人	2 人	平成29年度	- 人	- 人	
			平成30年度	2 人	0 人	家庭の事情(1人)、その他<進路変更>(1人)
			令和元年度	0 人	0 人	
令和2年度	400 人	1 人	平成29年度	- 人	- 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	1 人	0 人	他の教育機関への入学・転学(1人)
			令和2年度	0 人	0 人	
令和3年度	530 人	0 人	平成29年度	- 人	- 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
			令和2年度	0 人	0 人	
			令和3年度	0 人	0 人	
合 計		4 人		4 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{140} = \boxed{0.71} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{2}{279} = \boxed{0.71} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{400} = \boxed{0.25} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{530} = \boxed{0} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。



(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成29年度	- 人	- 人	平成29年度	- 人	- 人	
平成30年度	61 人	0 人	平成29年度	- 人	- 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
令和元年度	120 人	1 人	平成29年度	- 人	- 人	
			平成30年度	1 人	0 人	家庭の事情(1人)
			令和元年度	0 人	0 人	
令和2年度	162 人	1 人	平成29年度	- 人	- 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	1 人	0 人	他の教育機関への入学・転学(1人)
			令和2年度	0 人	0 人	
令和3年度	212 人	0 人	平成29年度	- 人	- 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
			令和2年度	0 人	0 人	
			令和3年度	0 人	0 人	
合 計		2 人		2 人	0 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
  - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
  - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
  - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{61} = \boxed{0} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{120} = \boxed{0.83} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{162} = \boxed{0.61} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{212} = \boxed{0} \%$$

- (注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成29年度	- 人	- 人	平成29年度	- 人	- 人	
平成30年度	79 人	1 人	平成29年度	- 人	- 人	
			平成30年度	1 人	0 人	学生個人の心身に関する事情(1人)
令和元年度	159 人	1 人	平成29年度	- 人	- 人	
			平成30年度	1 人	0 人	その他<進路変更>(1人)
			令和元年度	0 人	0 人	
令和2年度	238 人	0 人	平成29年度	- 人	- 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
			令和2年度	0 人	0 人	
令和3年度	318 人	0 人	平成29年度	- 人	- 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
			令和2年度	0 人	0 人	
			令和3年度	0 人	0 人	
合 計		2 人		2 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{79} = \boxed{1.26} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{159} = \boxed{0.62} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{238} = \boxed{0} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{318} = \boxed{0} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<教育学部 教育学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は開校時】

【令和3年度】

Table with columns for subject classification, course name, academic year, credit, and staff configuration. Includes sections for basic subjects, school-specific subjects, and preschool education.

Table with columns for subject classification, course name, academic year, credit, and staff configuration. Includes sections for basic subjects, school-specific subjects, and preschool education, with specific course names like '特別支援教育概論(初等)'.



科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	教員	准教授	講師	助教	助手		
課 履 修 科 目	保育実習Ⅰ	3後	1	1	1						兼1
	保育実習指導Ⅰ	2後			2						兼2
	保育実習Ⅱ	3後	2	1							兼1
	保育実習指導Ⅱ	3前	1	2							兼2
	保育実習Ⅲ	3後	2	1	1						兼1
	保育実習指導Ⅲ	3前	1	1	1						兼2
	子どもの保健1a	1前		2							兼1
	子どもの保健1b	1後		2							兼1
	子どもの保健Ⅱ	2前		1							兼1
	子どもの食と栄養	1前		2							兼1
	乳児保育	1後		2							兼1
	乳幼児心理学	2前		2			1				兼1
	社会的養護内容	3前		2		1					兼1
	家庭支援論	3前		2							兼1
	青年心理学	3前		2							兼1
	保育相談支援	3後		2							兼1
保育心理士実習	4後		1		1					兼1	
保育心理士実習指導	4後		1		1					兼1	
臨床心理学	3後		2							兼1	
合計(241科目)	-	-	72	402	35	10	7	2	0	0	兼92
卒業要件及び履修方法											
①共通基礎科目18単位(人間学Ⅰ・Ⅱ8単位、大学導入科目2単位、必修外国語8単位) ②学科専門科目88単位 <初等教育コース> 演習16単位、概論4単位以上、講義[A]から6単位以上、講義[B]から30単位以上、実践研究[A]4単位以上、実践研究[B]から18単位以上、卒業研究8単位を修得 <幼児教育コース> 演習16単位、概論4単位以上、講義[A]から6単位以上、講義[B]から28単位以上、実践研究[A]4単位以上、実践研究[B]から20単位以上、卒業研究8単位を修得 ③自己選択科目として、学科専門科目、現代総合科目及び他学部開講科目のなかから興味・関心により履修する科目を20単位以上 ①～③の科目を修得し、124単位以上を履修すること *必修外国語は英語Ⅰ・Ⅱの8単位であるが、学生の希望により、文学部に開講するドイツ語、フランス語、中国語、韓国・朝鮮語を履修させることができる *履修科目の登録単位数の上限は、年間48単位まで											

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	教員	准教授	講師	助教	助手		
課 履 修 科 目	保育実習Ⅰ	3後	1	1	1						
	保育実習指導Ⅰ	2後			2						兼2
	保育実習Ⅱ	3後	2	1							兼1
	保育実習指導Ⅱ	3前	1	2							兼2
	保育実習Ⅲ	3後	2	1	1						兼1
	保育実習指導Ⅲ	3前	1	1	1						兼2
	子どもの保健1a	1前		2							兼1
	子どもの保健1b	1後		2							兼1
	子どもの保健Ⅱ	2前		1							兼1
	子どもの食と栄養	1前		2							兼1
	乳児保育	1後		2							兼1
	乳幼児心理学	2前		2			1				兼1
	社会的養護内容	3前		2		1					兼1
	家庭支援論	3前		2							兼1
	青年心理学	3前		2							兼1
	保育相談支援	3後		2							兼1
保育心理士実習	4後		1		1					兼1	
保育心理士実習指導	4後		1		1					兼1	
臨床心理学	3後		2							兼1	
合計(209科目)	-	-	72	422	51	13	4	2	0	0	兼105
卒業要件及び履修方法											
①共通基礎科目18単位(人間学Ⅰ・Ⅱ8単位、大学導入科目2単位、必修外国語8単位) ②学科専門科目88単位 <初等教育コース> 演習16単位、概論4単位、講義[A]から6単位以上、講義[B]から30単位以上、実践研究[A]4単位、実践研究[B]から18単位以上、卒業研究8単位を修得 <幼児教育コース> 演習16単位、概論4単位、講義[A]から6単位以上、講義[B]から28単位以上、実践研究[A]4単位以上、実践研究[B]から20単位以上、卒業研究8単位を修得 ③自己選択科目として、学科専門科目、現代総合科目及び他学部開講科目のなかから興味・関心により履修する科目を20単位以上 ①～③の科目を修得し、124単位以上を履修すること *必修外国語は英語Ⅰ・Ⅱの8単位であるが、学生の希望により、文学部に開講するドイツ語、フランス語、中国語、韓国・朝鮮語を履修させることができる *履修科目の登録単位数の上限は、年間48単位まで											





科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数		専任教員等の配置				兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	教 授	准 教 授	講 師	助 教 手	
卒業要件及び履修方法									
①共通基礎科目18単位(人間学Ⅰ・Ⅱ6単位、大学導入科目2単位、必修外国語6単位) ②学科専門科目86単位 <初等教育コース> 演習16単位、概論4単位以上、講義[A]から6単位以上、講義[B]から30単位以上、実践研究[A]4単位以上、実践研究[B]から18単位以上、卒業研究8単位を修得 <幼児教育コース> 演習16単位、概論4単位以上、講義[A]から6単位以上、講義[B]から28単位以上、実践研究[A]4単位以上、実践研究[B]から20単位以上、卒業研究8単位を修得 ③自己選択科目として、学科専門科目、現代総合科目及び他学部関連科目のなかから興味・関心により履修する科目を20単位以上 ①～③の科目を修得し、124単位以上を履修すること *必修外国語は英語Ⅰ・Ⅱの6単位であるが、学生の希望により、文学部に開講するドイツ語、フランス語、中国語、韓国・朝鮮語を履修させることができる *履修科目の登録単位数の上限は、年間48単位まで									

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数		専任教員等の配置				兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	教 授	准 教 授	講 師	助 教 手	
卒業要件及び履修方法									
①共通基礎科目18単位(人間学Ⅰ・Ⅱ6単位、大学導入科目2単位、必修外国語6単位) ②学科専門科目86単位 <初等教育コース> 演習16単位、概論4単位以上、講義[A]から6単位以上、講義[B]から30単位以上、実践研究[A]4単位以上、実践研究[B]から18単位以上、卒業研究8単位を修得 <幼児教育コース> 演習16単位、概論4単位以上、講義[A]から6単位以上、講義[B]から28単位以上、実践研究[A]4単位以上、実践研究[B]から20単位以上、卒業研究8単位を修得 ③自己選択科目として、学科専門科目、現代総合科目及び他学部関連科目のなかから興味・関心により履修する科目を20単位以上 ①～③の科目を修得し、124単位以上を履修すること *必修外国語は英語Ⅰ・Ⅱの6単位であるが、学生の希望により、文学部に開講するドイツ語、フランス語、中国語、韓国・朝鮮語を履修させることができる *履修科目の登録単位数の上限は、年間48単位まで									





Table with columns: 科目区分 (Subject Category), 授業科目の名称 (Subject Name), 記号年次 (Code Year), 単位数 (Credits), 必修 (Compulsory), 選択 (Elective), 自習 (Self-study), 教員 (Staff), 准教授 (Associate Prof), 講師 (Lecturer), 助手 (Assistant), 兼任 (Part-time), 兼任 (Part-time), 兼任 (Part-time), 兼任 (Part-time), 兼任 (Part-time). Rows include categories like 学芸系科目, 卒業研究, キーワード形成系科目, 現代総合科目, 自然生命系科目, 歴史文化系科目, 保健福祉科目, and 臨床科目.

科目 区分	授業科目の名称	記 当 年 次	単 位 数		専 任 教 員 等 の 配 置				兼 任 ・ 兼 担
			必 修	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教 手	
※集要件及び履修方法									
①共通基礎科目18単位(人間学Ⅰ・Ⅱ8単位、大学導入科目2単位、必修外国語8単位) ②学科専門科目88単位 <初等教育コース> 演習16単位、概論4単位以上、講義[A]から6単位以上、講義[B]から30単位以上、実践研究[A]4単位以上、実践研究[B]から18単位以上、卒業研究8単位を修得 <幼児教育コース> 演習16単位、概論4単位以上、講義[A]から6単位以上、講義[B]から28単位以上、実践研究[A]4単位以上、実践研究[B]から20単位以上、卒業研究8単位を修得 ③自己選択科目として、学科専門科目、現代総合科目及び他学部開講科目のなかから興味・関心により履修する科目を20単位以上 ①～③の科目を修得し、124単位以上を履修すること *必修外国語は英語Ⅰ・Ⅱの8単位であるが、学生の希望により、文学部に開講するドイツ語、フランス語、中国語、韓国・朝鮮語を履修させることができる *履修科目の登録単位数の上限は、年間48単位まで									

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。  
 ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。  
 ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る届出書制作の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。  
 ・ 「認可時又は届出時」には、設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を赤字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**赤字**としてください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。  
 ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの数を記入してください。  
 ・ 不要な年度(令和元年度開放であれば平成30年度)の数は適宜削除してください。  
 (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)  
 ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務実習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・担当者交代にともなう変更  
「英語Ⅰ」 兼6→兼7
- ・科目の名称変更及び廃止  
教職課程課程認定申請時の初等教育局教職員課の指導による変更  
「教職実習Ⅰ(小)」→「教職実習(小)」  
「教職実習Ⅱ(小)」→廃止  
「教職実習Ⅰ(幼)」→「教職実習(幼)」  
「教職実習Ⅱ(幼)」→廃止
- ・同一名称の科目が諸課程科目に開講されていたことが判明し混乱を避けるための名称の変更  
「生涯学習概論」→「生涯学習論」
- ・受講対象学年・開講期別の変更  
前年度受講者の状況や要望、兼任担当者の事情等によるもの  
「こどもの描面分析」 前期→後期  
「発想から表現」 後期→前期  
「日本語表現(入門)」 1・2・3・4→1・2  
「日本語表現(実践)」 前期→後期  
「PC利用による表計算入門」 2・3・4→1・2・3・4  
「PC利用による表計算応用」 2・3・4→1・2・3・4  
「こころの科学」 1・2→1・2・3・4  
「人間関係の心理学」 1・2→1・2・3・4  
「カウンセリング」 1・2・3・4→2・3・4  
「東アジアの宗教文化」 前期→後期  
「アイヌ民族と共に」 前期→後期
- 記載の誤りにより修正するもの  
「おたにキッズキャンパス演習Ⅰ」 後期→前期

【令和元年度】

- ・2019年再課程認定申請に対応するための追加科目として新規開設。  
「特別支援教育概論(小)」、「総合的な学習の時間の指導法(小)」、「特別支援教育概論(幼)」  
「教育相談(幼)(幼児理解を含む)」
- ・2019年保育士養成課程法改正に対応するための追加科目として新規開設。  
「子ども家庭支援論」、「子どもの保健」、「保育の計画と評価」、「乳児保育Ⅰ」、「乳児保育Ⅱ」、「子どもの健康と安全」、「社会的養護演習」、「子ども家庭支援の心理学」
- ・学生の履修機会を増やすために履修クラスを拡張したことによる変更。  
「人間学Ⅱ」:兼18→兼18、「日本国憲法」→「日本国憲法Ⅰ・2・3」兼1
- ・受講人数の適正化、教育の質保証を図るために科目担当教員数を増加したことによる変更。  
「音楽実技Ⅰ-3、Ⅱ-3」:准教授1→教授1・准教授1、「おたにキッズキャンパス演習Ⅰ」:准教授1→准教授1・兼1  
「インドの宗教と文化」:兼1→兼2
- ・専任担当者の都合(准教授→教授)による変更。  
「幼児教育演習Ⅲ・Ⅳ」:教授4・准教授4・講師1→教授5・准教授3・講師1  
「教職実践演習(幼)」:教授3・准教授2→教授4・准教授1、「保育内容(健康)の理論と方法」:准教授1→教授1  
「体育(幼)」:准教授1→教授1、「卒業研究」:教授10・准教授7・講師2→教授12・准教授5・講師1  
「運動遊び指導法」:准教授1→教授1、「人間関係と身体表現」:准教授1→教授1、「保育実習指導Ⅰ」:准教授2→教授1・准教授1  
・兼任教員の定年退職に伴う担当者変更による変更。  
「人間学Ⅰ」:教授1・兼3→兼4
- ・兼任担当者の就任辞退に伴う担当者変更による変更。  
「英語Ⅰ」:兼7→兼6、「教育方法論(小)」:前期→後期、「生涯スポーツ・レクリエーション活動」:後期→前期
- ・兼任担当者の都合による開講期別変更。  
「授業心理学」:前期→後期、「乳児保育」:後期→前期  
・兼任担当者の都合による開講期別変更に伴い、期別のバランスをとるために変更。  
「発達心理学(小)」:後期→前期
- ・前年度の誤記・修正漏れ。  
「学びの発見」:教授1→教授1・兼1、「小学校教育学演習Ⅰ」:教授1・准教授1・兼1→准教授1・兼2  
「小学校教育学演習Ⅲ・Ⅳ」:教授6・准教授3・講師1→教授7・准教授2・講師1、「初等科教育法(体育)」:准教授1→教授1  
「教科(体育)」:准教授1→教授1、「教職実践演習(初等)」→「教職実践演習(小)」、「運動会実技演習」:准教授1→教授1  
「日本語表現(入門)」:1・2・3・4前→1・2前・後、「PC利用による表計算入門」:2・3・4前→1・2・3・4前  
「PC利用による表計算入門」:2・3・4後→1・2・3・4後、「こころの科学」:1・2前→1・2・3・4前  
「人間関係の心理学」:1・2後→1・2・3・4後、「生涯スポーツ・レクリエーション活動」:准教授1→兼1  
「カウンセリング」:1・2・3・4前→2・3・4後、「東アジアの宗教文化」:前期→後期、「アイヌ民族と共に」:前期→後期
- ・前年度修正した箇所の訂正  
「おたにキッズキャンパス演習Ⅰ」:前期→後期

【令和2年度】

- ・担当者交代に伴う変更  
「人間学Ⅱ」 兼18→兼19(担当教員の持ちコマ調整による変更)  
「学びの発見」 教授1・兼2(担当教員の持ちコマ調整による変更)  
「小学校教育学演習Ⅲ」 准教授1・兼2(担当教員の退職)  
「小学校教育学演習Ⅳ」 教授7・准教授2・講師1→教授7・准教授1・講師1、兼2(担当教員の退職、担当者追加)  
「小学校教育学演習Ⅳ」 教授7・准教授2・講師1→教授7・准教授1・講師1、兼2(担当教員の退職、担当者追加)  
「教育課程論(小)」 准教授1→兼1(担当教員の退職)  
「道徳教育の理論と方法(小)」 准教授1→教授1(担当教員の退職)  
「教職実践演習(小)」 教授3・准教授1、講師1→教授4、講師1(担当教員の退職)  
「保育内容総論」 兼1→教授1(兼任担当者の担当辞退)  
「保育内容(健康)の理論と方法」 兼1→兼1(担当教員の体調不良による担当者変更)  
「卒業研究」 教授10・准教授7・講師2→教授12・准教授4、講師2、兼2(担当教員の退職、追加)  
「中国の学芸文化」 兼1→兼2(担当教員の持ちコマ調整による変更)  
「保育実習Ⅰ」 准教授1・兼1→教授1・准教授1(兼任担当者の就任辞退)  
「保育実習Ⅱ」 准教授1・兼1→准教授1(兼任担当者の就任辞退)  
「青年心理学」 兼1→教授1(兼任担当者の担当辞退)
- ・担当者追加に伴う変更(教育環境の改善)  
「教育実習指導(小)」 兼1→教授1、兼1  
「教育実習(小)」 兼1→教授1、兼1  
「おたにキッズキャンパス演習Ⅱ」 准教授1→准教授1、兼1  
「教育実習(幼)」 教授1→教授2、准教授1
- ・授業科目の新規開設  
「青年と社会教育」、「社会福祉と社会教育」、「心理療法概論」、「心理療法と教育」(2020年社会教育課程法改正に対応)  
「フィールドワーク特殊演習(PBL)」(「京都市京セラ美術館」をフィールドとしたPBL科目の新規開設)
- ・開講期別変更  
「人間関係と身体表現」:前期→後期(担当教員の体調不良による変更)  
「臨床心理学」:後期→前期(担当教員の持ちコマ調整による変更)

【令和3年度】

- ・担当者交代に伴う変更  
「幼児教育演習Ⅲ」 教授5、准教授3、講師1→教授4、准教授3、講師2(担当教員(専任)の所属変更、それに伴う後任の専任教員採用による変更)  
「教育相談(幼)」 兼1→准教授1、講師1、兼1(課程認定申請時の指指に対応するための変更)  
「教職実践演習(幼)」 教授4、准教授1→教授3、准教授1、講師1(担当教員(専任)の所属変更、それに伴う後任の専任教員採用による変更)  
「体育(幼)」 教授1→講師1(担当教員(専任)の所属変更、それに伴う後任の専任教員採用による変更)  
「園遊工作(幼)Ⅱ・Ⅲ」 教授1→教授1、兼1(コロナ感染症予防策としてクラスあたりの受講者数を減らすためのクラス増設による変更)  
「運動遊び指導法」 教授1→講師1(担当教員(専任)の所属変更、それに伴う後任の専任教員採用による変更)  
「インターンシップ特殊演習(大谷大学)」兼1→教授1(担当教員(兼担)の退職に伴う担当者変更)  
「人間関係と身体表現」 教授1→兼1(担当教員(専任)の所属変更による変更(担当者自体の変更はなし))  
「保育実習指導Ⅰ」 教授1、准教授1、兼2→准教授1、講師1、兼2(担当教員(専任)の所属変更、それに伴う後任の専任教員採用による変更)  
「乳児保育Ⅰ」 兼1→教授2、准教授1、講師1、兼1(担当教員(兼任)の担当辞退に伴う担当者変更)
- ・授業名称の変更  
「インターンシップ1大学コンソ京都」→「インターンシップ特殊演習1大学コンソ京都」  
「インターンシップ2大谷大学」→「インターンシップ特殊演習2大谷大学」
- ・開講期別変更  
「教育方法論(小)」:後期→前期(担当教員(兼任)の転属に伴う所属異動により)  
「教科(外国語活動)」:後期→前期(担当教員(兼任)の本務先都合による退職に伴う担当者変更により)  
「社会福祉と社会教育」:後期→前期(担当教員(兼任)の本務先都合による退職に伴う担当者変更により)  
「人間関係と身体表現」:後期→前期(担当教員(兼担)の体調不良により20年度に開講期別変更を行ったが、21年度より当初に開講していた期別に戻した)  
「仏教福祉論」:後期→前期(担当教員(兼任)の本務先都合により)

(注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。  
・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。  
・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

必修	設置時の計画			変更状況			計	備考
	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由		
166 科目	273 科目	30 科目	469 科目	166 科目 [ 0 ]	297 科目 [ 24 ]	30 科目 [ 0 ]	493 科目 [ 24 ]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共通基礎科目「人間学Ⅱ」を6科目増設</li> <li>・現代総合科目「日本国憲法」を2科目増設</li> <li>・学修専門科目「総合的な学習の時間の指導法(小)」などを3科目増設</li> <li>・現代総合科目「青年と社会教育」など5科目増設</li> <li>・履修種科目「子ども家庭支援論」など8科目増設</li> </ul>

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	ヨーロッパの宗教と文化 (ドイツ)	2	1・2・3・4	一般	選択	新型コロナウイルスの感染拡大に伴う渡航制限等により
2	ヨーロッパの宗教と文化 (フランス)	2	1・2・3・4	一般	選択	新型コロナウイルスの感染拡大に伴う渡航制限等により
3	東アジアの宗教文化	2	1・2・3・4	一般	選択	担当教員 (兼担) の在外研究により
4	インドの宗教と文化	2	1・2・3・4	一般	選択	新型コロナウイルスの感染拡大に伴う渡航制限等により
5	中国の宗教と文化	2	1・2・3・4	一般	選択	新型コロナウイルスの感染拡大に伴う渡航制限等により

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止 (教育課程から削除) した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

学生向け情報提供システムにて学生へ周知を行った。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目 (3) と廃止科目 (4) の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計 (A)}} = \frac{5}{469} = \boxed{1.06} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1)	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
		校舎敷地	0.00㎡ 41,194.92㎡	44,452.60㎡ 41,194.92㎡ 0.00㎡	0.00㎡		44,452.60㎡ 41,194.92㎡	大谷大学短期大学部と 大谷大学短期大学の 敷止によるもの（在籍 者0名のため廃止認可 申請中）（3） 旧学東敷地を、建物譲 渡特約付定期借地契約 したことによるもの （3）	
校舎敷地	運動場用地	0.00㎡ 23,655.48㎡	29,680.12㎡ 23,655.48㎡ 0.00㎡	0.00㎡	29,680.12㎡ 23,655.48㎡				
校舎敷地	小 計	0.00㎡ 64,850.40㎡	74,132.72㎡ 64,850.40㎡ 0.00㎡	0.00㎡	74,132.72㎡ 64,850.40㎡				
校舎敷地	そ の 他	0.00㎡ 20,084.21㎡	11,464.39㎡ 20,746.62㎡ 0.00㎡	0.00㎡	11,464.39㎡ 20,746.62㎡ 20,084.21㎡	再測量及び湖西キャン パス人工芝化工事の 際の再測量結果による もの（2）			
校舎敷地	合 計	0.00㎡ 84,934.61㎡	85,597.02㎡ 0.00㎡	0.00㎡	85,597.02㎡ 84,934.61㎡				
(2)	校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
		6,236.11㎡ 6,160.94㎡ 6,136.29㎡ 6,444.66㎡ 53,597.58㎡ (-6,236.11㎡) (-6,160.94㎡) (-6,136.29㎡) (-6,444.66㎡) (53,597.58㎡)	47,260.21㎡ 46,989.56㎡ 47,117.63㎡ 46,999.11㎡ 0.00㎡ (-47,260.21㎡) (-46,989.56㎡) (-47,117.63㎡) (-46,999.11㎡) (0.00㎡)	450.46㎡ 447.08㎡ 343.66㎡ 153.81㎡ 0.00㎡ (-450.46㎡) (-447.08㎡) (-343.66㎡) (-153.81㎡) (0.00㎡)	52,946.78㎡ 53,597.58㎡ (-52,946.78㎡) (53,597.58㎡)		大谷大学短期大学部と 共用 大谷大学短期大学の 敷止によるもの（3） 教員の所属変更に伴う 変更（元）（2）		
(3)	教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体 科目開講実施に対応し た環境整備による変更 (30) 大谷大学短期大学の 敷止によるもの（3）		
		61 62 66室	52 49室	60 40室	8室 (補助職員0人)	10室 (補助職員1人)			
(4)	専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
		教育学部 教育学科			19 室				
(5)	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕	学術雑誌 〔うち外国書〕	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体、大谷大学短期 大学部との共用 ①学術雑誌：重複登録雑 誌を除外したため(30) ②電子ジャーナル：利用 形態を勘案し、契約更新 時に一部解約したため (30) ③視聴覚資料：再生不能 になった資料を売却した ため(30) ④図書・学術雑誌：国際 学部新設のため図書の増 加があり、完成年度の見 込み数が増加したため (2) ⑤電子ジャーナル：購読 誌数増加の見込みがない ため(2) ⑥外国書：英語以外の書 籍類の圖書の希望が減少 し想定増加数が純化した ため。(3) ⑦学術雑誌：重複登録雑 誌を除外したため。(3)	
		冊	種	種					
教育学部 教育学科	889,727(186,407) 882,766(184,824)	6,648(645) 6,664(667)	115(0) 588(630)	2,100	30	0			
計	889,727(186,407) 882,766(184,824)	6,648(645) 6,664(667)	115(0) 588(630)	2,100	30	0			
(6)	図 書 館	面 積		開 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数				
		7,604.82㎡		588	1,115,833				
(7)	体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要					
		4,857.06㎡		道 場 弓 道 場					
(8)	経費の 見積り 及び 維持方法 の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	共同研究費等は大学全 体。 図書購入費、設備購入 費は、大谷大学短期大 学部との共同図書およ び設備として購入。 図書費には、電子 ジャーナル・データ ベースの整備費を含 む。 図書購入費および設備 購入費の増減は、執行 の意図および予算額 の変更による。(30) 共同研究費等、図書購 入費および設備購入費 の減額は、執行の見 込みによる。(元) 共同研究費等、図書購 入費および設備購入費 の増減は、予算額の変 更による。(3)
		教員1人当り研究費等	350千円	350千円	図書購入費	65,970千円 52,458千円	65,000千円 63,028千円 55,917千円	65,000千円 62,689千円	
		共同研究費等	80,000千円 54,167千円	80,000千円 76,446千円	設備購入費	38,300千円 40,150千円	8,000千円 39,836千円 32,614千円	8,000千円 10,997千円	
		学生1人当り 納付金	第1年次 1,290千円	第2年次 1,280千円	第3年次 1,280千円	第4年次 1,280千円	第5年次 —千円	第6年次 —千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		手数料、寄付金、補助金、受取利息・配当金収入等							

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はA.C対象学部等の数値を記入してください。）  
 ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。  
 ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和3年5月1日現在の数値を記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え直し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。  
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。  
 ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。  
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。  
 ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学 の 名 称		大谷大学					学生募集停止学科数		4	平均入学定員超過率 (1.3倍以上の学科等数)		0	備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和3年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の学科のみ)	開設 年度	所 在 地			
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度	年度			
教育学部	4	130	-	520	-	1.02	1.03	-	平成30年度	-			
教育学科	4	130	-	520	学士 (教育学)	1.02	1.03	-	平成30年度	京都府京都市北区 小山上総町20番地			
初等教育コース	4	50	-	200	学士 (教育学)	1.08	1.06	-	平成30年度	同上			
幼児教育コース	4	80	-	320	学士 (教育学)	0.99	1.01	-	平成30年度	同上			
社会学部	4	220	-	880	-	1.03	0.95	-	平成30年度	-			
現代社会学科	4	120	-	480	学士 (社会学)	1.05	1.04	-	平成30年度	京都府京都市北区 小山上総町20番地			
コミュニケーション学科	4	100	-	400	学士 (社会学)	1.01	0.86	-	平成30年度	同上			
文学部	4	318	-	1,246	-	1.04	0.99	-	昭和24年度	-			
真宗学科	4	60	-	240	学士 (文学)	0.98	0.96	-	昭和40年度	京都府京都市北区 小山上総町20番地			
仏教学科	4	25	-	100	学士 (文学)	0.89	0.64	-	昭和24年度	同上			
哲学科	4	50	-	200	学士 (文学)	1.19	1.16	-	昭和24年度	同上			
社会学科	4	-	-	-	-	-	-	-	昭和40年度	同上		平成30年学生募集停止	
歴史学科	4	105	-	410	学士 (文学)	1.04	1.05	令和2年度	昭和40年度	同上		定員変更(5)	
文学科	4	78	-	296	学士 (文学)	1.03	0.92	令和2年度	昭和40年度	同上		定員変更(8)	
国際文化学科	4	-	-	-	学士 (文学)	-	-	-	平成5年度	同上		令和3年学生募集停止	
人文情報学科	4	-	-	-	学士 (文学)	-	-	-	平成12年度	同上		平成30年学生募集停止	
教育・心理学科	4	-	-	-	学士 (教育学)	-	-	-	平成21年度	同上		平成30年学生募集停止	
国際学部	4	100	-	100	-	1.03	1.03	-	令和3年度	-			
国際文化学科	4	100	-	100	学士 (文学)	1.03	1.03	令和3年度	令和3年度	京都府京都市北区 小山上総町20番地		定員変更(10)	
大学 の 名 称		大谷大学大学院					学生募集停止学科数		1	平均入学定員超過率 (1.3倍以上の学科等数)		0	備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和3年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の学科のみ)	開設 年度	所 在 地			
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度	年度			
文学研究科													
真宗学専攻													
(修士課程)	2	20	-	40	修士 (文学)	0.75	0.60	-	昭和28年度	京都府京都市北区 小山上総町20番地			
(博士後期課程)	3	3	-	9	博士 (文学)	0.88	0.66	-	昭和30年度	同上			
仏教学専攻													
(修士課程)	2	15	-	30	修士 (文学)	0.06	0.06	-	昭和28年度	同上			
(博士後期課程)	3	3	-	9	博士 (文学)	0.55	1.00	-	昭和30年度	同上			
哲学専攻													
(修士課程)	2	10	-	20	修士 (文学)	0.00	0.00	-	昭和29年度	同上			
(博士後期課程)	3	3	-	9	博士 (文学)	0.00	0.00	-	昭和31年度	同上			
社会学専攻													
(博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (文学)	-	-	-	平成13年度	同上		令和2年学生募集停止	
仏教文化専攻													
(修士課程)	2	10	-	20	修士 (文学)	0.60	0.20	-	昭和29年度	同上			
(博士後期課程)	3	3	-	9	博士 (文学)	0.00	0.00	-	昭和31年度	同上			
国際文化専攻													
(修士課程)	2	10	-	20	修士 (文学)	0.00	0.00	-	平成11年度	同上			
(博士後期課程)	3	3	-	9	博士 (文学)	0.00	0.00	-	平成13年度	同上			
教育・心理学専攻													
(修士課程)	2	8	-	16	修士 (教育学)	0.12	0.00	-	平成25年度	同上			
大学 の 名 称		大谷大学短期大学部					学生募集停止学科数		1	平均入学定員超過率 (1.3倍以上の学科等数)		0	備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和3年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の学科のみ)	開設 年度	所 在 地			
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度	年度			
幼児教育保育科	2	-	-	-	短期大学士 (幼児教育 保育学)	-	-	-	昭和24年度	京都府京都市北区 小山上総町20番地		平成31年学生募集停止	



大学 名 称		九州大谷短期大学					学生募集停止学科数		0		平均入学定員超過率 (3倍以上の学科数)		0		備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和3年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の学科のみ)	開設 年度	所 在 地					
	年	人	年次 人	人		倍	倍								
仏教学科	2	10	-	20	短期大学士 (仏教学)	0.65	0.60	-	昭和45年度	福岡県筑後市蔵敷 495-1					
表現学科	2	65	-	130	短期大学士 (表現学)	0.66	0.56	-	昭和45年度	同上	定員変更 (15)				
幼児教育学科	2	100	-	200	短期大学士 (幼児教育 学)	0.75	0.82	-	昭和45年度	同上					
福祉学科	2	20	-	40	短期大学士 (介護福祉 学)	0.50	0.45	-	平成11年度	同上	定員変更 (△15)				

(注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。  
 (専攻科及び別科を除く)。なお、調査対象の学科等が設置されている大学から順に記載してください。  
 ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。  
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。  
 ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。  
 ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。  
 ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。



専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名
専 准教授		江森 英世 (58) <平成30年4月>	小学校教育学演習Ⅲ 小学校教育学演習Ⅳ 教職入門(小) 探求ゼミ(算数)Ⅰ 探求ゼミ(算数)Ⅱ 探求ゼミ(算数)Ⅲ 初等科教育法(算数) 教科(算数) 卒業研究	専 准教授		江森 英世 (58) <平成30年4月>	小学校教育学演習Ⅲ 小学校教育学演習Ⅳ 教職入門(小) 探求ゼミ(算数)Ⅰ 探求ゼミ(算数)Ⅱ 探求ゼミ(算数)Ⅲ 初等科教育法(算数) 教科(算数) 卒業研究	専 教授		江森 英世 (61) <平成30年4月>	小学校教育学演習Ⅲ 小学校教育学演習Ⅳ 教職入門(小) 探求ゼミ(算数)Ⅰ 探求ゼミ(算数)Ⅱ 探求ゼミ(算数)Ⅲ 初等科教育法(算数) 教科(算数) 卒業研究
専 教授		富岡 量秀 (51) <平成30年4月>	人間学Ⅰ 幼児教育演習Ⅲ 幼児教育演習Ⅳ 仏教と教育(初等) 実践体験活動演習(幼)Ⅰ 実践体験活動演習(幼)Ⅱ おおたにキッズキャンパス演習Ⅲ 教職実践演習(幼) 保育内容(環境)の理論と方法Ⅰ 保育内容(環境)の理論と方法Ⅱ 野外活動 卒業研究 保育心理士実習 保育心理士実習指導	専 教授		富岡 量秀 (51) <平成30年4月>	(削除) 幼児教育演習Ⅲ 幼児教育演習Ⅳ 仏教と教育(初等) 実践体験活動演習(幼)Ⅰ 実践体験活動演習(幼)Ⅱ おおたにキッズキャンパス演習Ⅲ 教職実践演習(幼) 保育内容(環境)の理論と方法Ⅰ 保育内容(環境)の理論と方法Ⅱ 野外活動 卒業研究 保育心理士実習 保育心理士実習指導	専 教授		富岡 量秀 (54) <平成30年4月>	(削除) 幼児教育演習Ⅲ 幼児教育演習Ⅳ 仏教と教育(初等)Ⅰ 実践体験活動演習(幼)Ⅰ 実践体験活動演習(幼)Ⅱ おおたにキッズキャンパス演習Ⅲ 教職実践演習(幼) 保育内容(環境)の理論と方法Ⅰ 保育内容(環境)の理論と方法Ⅱ 野外活動 卒業研究 保育心理士実習 保育心理士実習指導 <b>乳児保育Ⅰ</b>
専 教授		森田 裕之 (50) <平成30年4月>	小学校教育学演習Ⅰ 小学校教育学演習Ⅱ 小学校教育学演習Ⅳ 教育原論(小) 教育学概論Ⅰ 教育学概論Ⅱ 教育原論(幼) 卒業研究	専 教授		森田 裕之 (50) <平成30年4月>	(削除) 小学校教育学演習Ⅱ 小学校教育学演習Ⅲ 小学校教育学演習Ⅳ 教育原論(小) 教育学概論Ⅰ 教育学概論Ⅱ 教育原論(幼) 卒業研究	専 教授(学 美)		森田 裕之 (53) <平成30年4月>	(削除) 小学校教育学演習Ⅱ 小学校教育学演習Ⅲ 小学校教育学演習Ⅳ 教育原論(小) 教育学概論Ⅰ 教育学概論Ⅱ 教育原論(幼) 卒業研究
専 教授		安田 誠人 (50) <平成30年4月>	幼児教育演習Ⅱ 幼児教育演習Ⅲ 幼児教育演習Ⅳ 教職実践演習(幼) 障害児保育 相談援助 卒業研究 保育実習Ⅲ 保育実習指導Ⅲ	専 教授		安田 誠人 (50) <平成30年4月>	幼児教育演習Ⅱ 幼児教育演習Ⅲ 幼児教育演習Ⅳ 教職実践演習(幼) 障害児保育 相談援助 卒業研究 保育実習Ⅲ 保育実習指導Ⅲ	専 教授		安田 誠人 (53) <平成30年4月>	幼児教育演習Ⅱ 幼児教育演習Ⅲ 幼児教育演習Ⅳ 教職実践演習(幼) 障害児保育 相談援助 卒業研究 保育実習Ⅲ 保育実習指導Ⅲ <b>保育実習Ⅰ インターンシップ特修演習2大谷大学</b>
専 教授		田中 久美子 (46) <平成30年4月>	学びの発見 小学校教育学演習Ⅱ 小学校教育学演習Ⅲ 小学校教育学演習Ⅳ 発達心理学(小) 教職実践演習(初等) 卒業研究	専 教授		田中 久美子 (46) <平成30年4月>	学びの発見 小学校教育学演習Ⅱ 小学校教育学演習Ⅲ 小学校教育学演習Ⅳ 発達心理学(小) 教職実践演習(小) 卒業研究	専 教授		田中 久美子 (46) <平成30年4月>	(削除) 小学校教育学演習Ⅱ 小学校教育学演習Ⅲ 小学校教育学演習Ⅳ 発達心理学(小) 教職実践演習(小) <b>青年心理学</b>
専 准教授		木塚 勝豊 (55) <平成30年4月>	幼児教育演習Ⅱ 幼児教育演習Ⅲ 幼児教育演習Ⅳ 児童家庭福祉 社会的養護 実践体験活動演習(幼)Ⅱ 卒業研究 保育実習Ⅰ 保育実習指導Ⅰ 保育実習Ⅲ 保育実習指導Ⅲ 社会的養護内容	専 准教授		木塚 勝豊 (55) <平成30年4月>	幼児教育演習Ⅱ 幼児教育演習Ⅲ 幼児教育演習Ⅳ 児童家庭福祉 社会的養護 実践体験活動演習(幼)Ⅱ 卒業研究 保育実習Ⅰ 保育実習指導Ⅰ 保育実習Ⅲ 保育実習指導Ⅲ 社会的養護内容	専 准教授		木塚 勝豊 (57) <平成30年4月>	幼児教育演習Ⅱ 幼児教育演習Ⅲ 幼児教育演習Ⅳ 児童家庭福祉 社会的養護 実践体験活動演習(幼)Ⅱ 卒業研究 保育実習Ⅰ 保育実習指導Ⅰ 保育実習Ⅲ 保育実習指導Ⅲ 社会的養護内容 <b>社会的養護演習</b>
専 准教授		岡村 明日香 (54) <平成30年4月>	音楽実技Ⅰ-3 音楽実技Ⅱ-3 幼児教育演習Ⅲ 幼児教育演習Ⅳ 音楽理論 音楽(幼)Ⅰ 音楽(幼)Ⅱ 音楽実技Ⅰ 音楽実技Ⅱ 音楽(幼)Ⅲ 総合表現演習Ⅱ 卒業研究 保育実習Ⅱ 保育実習指導Ⅱ	専 准教授		岡村 明日香 (54) <平成30年4月>	音楽実技Ⅰ-3 音楽実技Ⅱ-3 幼児教育演習Ⅲ 幼児教育演習Ⅳ 音楽理論 音楽(幼)Ⅰ 音楽(幼)Ⅱ 音楽実技Ⅰ 音楽実技Ⅱ 音楽(幼)Ⅲ 総合表現演習Ⅱ 卒業研究 保育実習Ⅱ 保育実習指導Ⅱ	専 准教授		岡村 明日香 (57) <平成30年4月>	音楽実技Ⅰ-3 音楽実技Ⅱ-3 幼児教育演習Ⅲ 幼児教育演習Ⅳ 音楽理論 音楽(幼)Ⅰ 音楽(幼)Ⅱ 音楽実技Ⅰ 音楽実技Ⅱ 音楽(幼)Ⅲ 総合表現演習Ⅱ 卒業研究 保育実習Ⅱ 保育実習指導Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	准教授	池永 真義 (50) <平成30年4月>	専	准教授	池永 真義 (50) <平成30年4月>	専	准教授	池永 真義 (51) <平成30年4月>	専	准教授	池永 真義 (52) <平成30年4月>
		小学校教育学演習Ⅲ 小学校教育学演習Ⅳ 初等科教育法(図画工作) 教科(図画工作) おおたにキッズキャンパス演習Ⅰ おおたにキッズキャンパス演習Ⅱ 卒業研究			小学校教育学演習Ⅲ 小学校教育学演習Ⅳ 初等科教育法(図画工作) 教科(図画工作) おおたにキッズキャンパス演習Ⅰ おおたにキッズキャンパス演習Ⅱ 卒業研究			小学校教育学演習Ⅲ 小学校教育学演習Ⅳ 初等科教育法(図画工作) 教科(図画工作) おおたにキッズキャンパス演習Ⅰ おおたにキッズキャンパス演習Ⅱ 卒業研究			小学校教育学演習Ⅲ 小学校教育学演習Ⅳ 初等科教育法(図画工作) 教科(図画工作) おおたにキッズキャンパス演習Ⅰ おおたにキッズキャンパス演習Ⅱ 卒業研究
専	准教授	井上 摩紀 (49) <平成30年4月>	専	准教授	井上 摩紀 (49) <平成30年4月>	専	教授	井上 摩紀 (50) <平成30年4月>	専	教授	井上 摩紀 (51) <平成30年4月>
		幼児教育演習Ⅲ 幼児教育演習Ⅳ 教職実践演習(幼) 保育内容(健康)の理論と方法 体育(幼) 運動遊び指導法 卒業研究 人間関係と身体表現 保育実習指導Ⅰ			幼児教育演習Ⅲ 幼児教育演習Ⅳ 教職実践演習(幼) 保育内容(健康)の理論と方法 体育(幼) 運動遊び指導法 卒業研究 人間関係と身体表現 保育実習指導Ⅰ			幼児教育演習Ⅲ 幼児教育演習Ⅳ 教職実践演習(幼) 保育内容(健康)の理論と方法 体育(幼) 運動遊び指導法 卒業研究 人間関係と身体表現 保育実習指導Ⅰ			幼児教育演習Ⅲ 幼児教育演習Ⅳ 教職実践演習(幼) 保育内容(健康)の理論と方法 体育(幼) 運動遊び指導法 卒業研究 人間関係と身体表現 保育実習指導Ⅰ
									専	講師	近江 望 (50) <令和3年4月>
											幼児教育演習Ⅲ 運動遊び指導法 体育(幼) 教職実践演習Ⅰ 教職実践演習(幼)
専	准教授	西村(大野)英紀 (45) <平成30年4月>	専	准教授	西村(大野)英紀 (45) <平成30年4月>	専	准教授	西村(大野)英紀 (46) <平成30年4月>	専	准教授	西村(大野)英紀 (47) <平成30年4月>
		幼児教育演習Ⅰ 幼児教育演習Ⅱ 幼児教育演習Ⅲ 幼児教育演習Ⅳ 保育原理Ⅰ 教育課程論(幼) 教育方法論(幼)※ 実践体験活動演習(幼)Ⅰ 実践体験活動演習(幼)Ⅱ 教育実習指導(幼) 教職実践演習(幼) 卒業研究 保育実習指導Ⅱ			幼児教育演習Ⅰ 幼児教育演習Ⅱ 幼児教育演習Ⅲ 幼児教育演習Ⅳ 保育原理Ⅰ 教育課程論(幼) 教育方法論(幼)※ 実践体験活動演習(幼)Ⅰ 実践体験活動演習(幼)Ⅱ 教育実習指導(幼) 教職実践演習(幼) 卒業研究 保育実習指導Ⅱ			幼児教育演習Ⅰ 幼児教育演習Ⅱ 幼児教育演習Ⅲ 幼児教育演習Ⅳ 保育原理Ⅰ 教育課程論(幼) 教育方法論(幼)※ 実践体験活動演習(幼)Ⅰ 実践体験活動演習(幼)Ⅱ 教育実習指導(幼) 教職実践演習(幼) 卒業研究 保育実習指導Ⅱ <b>教育相談(幼)(幼児理解を含む)</b> <b>保育の計画と評価</b> <b>保育実習(幼)</b>			幼児教育演習Ⅰ 幼児教育演習Ⅱ 幼児教育演習Ⅲ 幼児教育演習Ⅳ 保育原理Ⅰ 教育課程論(幼) 教育方法論(幼)※ 実践体験活動演習(幼)Ⅰ 実践体験活動演習(幼)Ⅱ 教育実習指導(幼) 教職実践演習(幼) 卒業研究 保育実習指導Ⅱ <b>教育相談(幼)(幼児理解を含む)</b> <b>保育の計画と評価</b> <b>保育実習(幼)</b> <b>乳児保育Ⅰ</b>
専	准教授	高瀬 洋也 (44) <平成30年4月>									
		小学校教育学演習Ⅲ 小学校教育学演習Ⅳ 初等科教育法(体育) 教科(体育) 運動会実践演習 卒業研究 生涯スポーツ・レクリエーション活動									
専	准教授	田中 潤一 (41) <平成30年4月>	専	准教授	田中 潤一 (41) <平成30年4月>	専	准教授	田中 潤一 (42) <平成30年4月>	兼任	講師	田中 潤一 (43) <平成30年4月>
		小学校教育学演習Ⅰ 小学校教育学演習Ⅱ 小学校教育学演習Ⅲ 教育課程論(小) 道徳教育の理論と方法(小) 教職実践演習(初等) 卒業研究			小学校教育学演習Ⅰ 小学校教育学演習Ⅱ 小学校教育学演習Ⅲ 教育課程論(小) 道徳教育の理論と方法(小) 教職実践演習(初等) 卒業研究			小学校教育学演習Ⅰ 小学校教育学演習Ⅱ 小学校教育学演習Ⅲ 教育課程論(小) 道徳教育の理論と方法(小) 教職実践演習(初等) 卒業研究			(副論) (副論) (副論) (副論) (副論) (副論) (副論)
専	講師	谷 哲弥 (59) <平成30年4月>	専	講師	谷 哲弥 (59) <平成30年4月>	専	講師	谷 哲弥 (60) <平成30年4月>	専	講師	谷 哲弥 (61) <平成30年4月>
		小学校教育学演習Ⅲ 小学校教育学演習Ⅳ 探求ゼミ(理科)Ⅰ 探求ゼミ(理科)Ⅱ 探求ゼミ(理科)Ⅲ 初等科教育法(理科) 教科(理科) 教職実践演習(初等) 卒業研究			小学校教育学演習Ⅲ 小学校教育学演習Ⅳ 探求ゼミ(理科)Ⅰ 探求ゼミ(理科)Ⅱ 探求ゼミ(理科)Ⅲ 初等科教育法(理科) 教科(理科) 教職実践演習(初等) 卒業研究			小学校教育学演習Ⅲ 小学校教育学演習Ⅳ 探求ゼミ(理科)Ⅰ 探求ゼミ(理科)Ⅱ 探求ゼミ(理科)Ⅲ 初等科教育法(理科) 教科(理科) 教職実践演習(初等) 卒業研究			小学校教育学演習Ⅲ 小学校教育学演習Ⅳ 探求ゼミ(理科)Ⅰ 探求ゼミ(理科)Ⅱ 探求ゼミ(理科)Ⅲ 初等科教育法(理科) 教科(理科) 教職実践演習(初等) 卒業研究

専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)
職名	<就任(予定)年月>	<就任(予定)年月>	<就任(予定)年月>	<就任(予定)年月>	<就任(予定)年月>
担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名	
専 講師	渡邊 大介 (37) <平成30年4月>	渡邊 大介 (37) <平成30年4月>	渡邊 大介 (38) <平成30年4月>	渡邊 大介 (39) <平成30年4月>	渡邊 大介 (40) <平成30年4月>
	教育心理学(小) 幼児教育演習Ⅰ 幼児教育演習Ⅱ 幼児教育演習Ⅲ 幼児教育演習Ⅳ 発達心理学(幼) 実践体験活動演習(幼)Ⅰ 卒業研究 乳幼児心理学 保育心理士実習 保育心理士実習指導	教育心理学(小) 幼児教育演習Ⅰ 幼児教育演習Ⅱ 幼児教育演習Ⅲ 幼児教育演習Ⅳ 発達心理学(幼) 発達心理学(幼) 教育心理学(幼) 実践体験活動演習(幼)Ⅰ 卒業研究 乳幼児心理学 保育心理士実習 保育心理士実習指導	教育心理学(小) 幼児教育演習Ⅰ 幼児教育演習Ⅱ 幼児教育演習Ⅲ 幼児教育演習Ⅳ 発達心理学(幼) 教育心理学(幼) 実践体験活動演習(幼)Ⅰ 卒業研究 乳幼児心理学 保育心理士実習 保育心理士実習指導 <b>教育相談(幼)(幼児理解を含む) 子ども家庭支援の心理学</b>	教育心理学(小) 幼児教育演習Ⅰ 幼児教育演習Ⅱ 幼児教育演習Ⅲ 幼児教育演習Ⅳ 発達心理学(幼) 教育心理学(幼) 実践体験活動演習(幼)Ⅰ 卒業研究 乳幼児心理学 保育心理士実習 保育心理士実習指導 <b>教育相談(幼)(幼児理解を含む) 子ども家庭支援の心理学</b>	教育心理学(小) 幼児教育演習Ⅰ 幼児教育演習Ⅱ 幼児教育演習Ⅲ 幼児教育演習Ⅳ 発達心理学(幼) 教育心理学(幼) 実践体験活動演習(幼)Ⅰ 卒業研究 乳幼児心理学 保育心理士実習 保育心理士実習指導 <b>教育相談(幼)(幼児理解を含む) 子ども家庭支援の心理学 乳児保育Ⅰ</b>
兼任 教授	ロバート ローズ (64) <平成31年4月>	ロバート ローズ (64) <平成31年4月>	兼任 講師 ロバート ローズ (65) <令和元年4月>	兼任 講師 ロバート ローズ (66) <令和元年4月>	兼任 講師 ロバート ローズ (67) <令和元年4月>
	人間学Ⅱ	人間学Ⅱ	人間学Ⅱ	人間学Ⅱ	人間学Ⅱ
		兼任 教授 荒瀬 克己 (64) <平成30年4月>	兼任 教授 荒瀬 克己 (66) <平成30年4月>		
		探究基礎演習	探究基礎演習		
兼任 教授	織田 顕祐 (63) <平成31年4月>	織田 顕祐 (63) <平成31年4月>	兼任 教授 織田 顕祐 (64) <令和元年4月>	兼任 講師 織田 顕祐 (65) <令和元年4月>	兼任 講師 織田 顕祐 (66) <令和元年4月>
	人間学Ⅱ	人間学Ⅱ	人間学Ⅱ	人間学Ⅱ	人間学Ⅱ
兼任 教授	朴 一功 (64) <平成30年4月>	兼任 教授 朴 一功 (64) <平成30年4月>	兼任 講師 朴 一功 (65) <平成30年4月>	兼任 講師 朴 一功 (66) <平成30年4月>	兼任 講師 朴 一功 (67) <平成30年4月>
	日本語表現(入門)	日本語表現(入門)	日本語表現(入門)	日本語表現(入門)	日本語表現(入門)
兼任 教授	山下 憲昭 (62) <平成30年4月>	兼任 教授 山下 憲昭 (62) <平成30年4月>	兼任 教授 山下 憲昭 (63) <平成30年4月>	兼任 教授 山下 憲昭 (64) <平成30年4月>	
	インターンシップ2大谷大学 キャリアデザイン実践1 キャリアデザイン実践2	インターンシップ2大谷大学 キャリアデザイン実践1 キャリアデザイン実践2	インターンシップ2大谷大学 キャリアデザイン実践1 キャリアデザイン実践2	インターンシップ2大谷大学 キャリアデザイン実践1 キャリアデザイン実践2	
		兼任 教授 一茶 真 (60) <平成31年4月>	兼任 教授 一茶 真 (61) <令和元年4月>	兼任 教授 一茶 真 (62) <令和元年4月>	兼任 教授 一茶 真 (63) <令和元年4月>
		人間学Ⅱ	人間学Ⅱ	人間学Ⅱ	人間学Ⅱ
			兼任 教授 山本 貴子 (62) <令和元年4月>	兼任 教授 山本 貴子 (63) <令和元年4月>	
			インターンシップ1大学コンソ京都	インターンシップ1大学コンソ京都	
				兼任 教授 井上 尚実 (60) <令和2年4月>	兼任 教授 井上 尚実 (61) <令和2年4月>
			人間学Ⅱ	人間学Ⅱ	人間学Ⅱ
				兼任 教授 富崎 倫可 (60) <令和2年4月>	兼任 教授 富崎 倫可 (61) <令和2年4月>
				兼任 教授 フィールドワーク特殊演習(PBL)	兼任 教授 フィールドワーク特殊演習(PBL)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名
兼任	教授	脇中 洋 (58) <平成30年4月>	脇中 洋 (58) <平成30年4月>	脇中 洋 (59) <平成30年4月>	脇中 洋 (60) <平成30年4月>	脇中 洋 (61) <平成30年4月>	脇中 洋 <平成30年4月>
		障害のある子どもたち(初等)	障害のある子どもたち(初等)	障害のある子どもたち(初等)	障害のある子どもたち(初等)	障害のある子どもたち(初等)	障害のある子どもたち(初等)
兼任	教授	木越 康 (55) <平成32年4月>	木越 康 (55) <平成32年4月>	木越 康 (56) <令和2年4月>			
		教育人間学Ⅰ 教育人間学Ⅱ	教育人間学Ⅰ 教育人間学Ⅱ	教育人間学Ⅰ 教育人間学Ⅱ			
兼任	教授	谷口 奈青理 (54) <平成32年4月>	谷口 奈青理 (54) <平成32年4月>	谷口 奈青理 (55) <令和2年4月>	谷口 奈青理 (56) <令和2年4月>	谷口 奈青理 (57) <令和2年4月>	谷口 奈青理 <令和2年4月>
		教育相談(小) 教育相談(幼) 臨床心理学	教育相談(小) 教育相談(幼) 臨床心理学	教育相談(小) 教育相談(幼) 臨床心理学 <b>教育相談(幼)(幼児理解を含む)</b>	教育相談(小) 教育相談(幼) 臨床心理学 <b>教育相談(幼)(幼児理解を含む)</b>	教育相談(小) 教育相談(幼) 臨床心理学 <b>教育相談(幼)(幼児理解を含む)</b>	教育相談(小) 教育相談(幼) 臨床心理学 <b>教育相談(幼)(幼児理解を含む)</b>
兼任	教授	福島 栄寿 (53) <平成31年4月>					
		人間学Ⅱ					
兼任	教授	鈴木 寿志 (51) <平成30年4月>	鈴木 寿志 (51) <平成30年4月>	鈴木 寿志 (52) <平成30年4月>	鈴木 寿志 (53) <平成30年4月>	鈴木 寿志 (54) <平成30年4月>	鈴木 寿志 <平成30年4月>
		人間学Ⅱ 地震と火山1	人間学Ⅱ 地震と火山1	人間学Ⅱ 地震と火山1	人間学Ⅱ 地震と火山1	人間学Ⅱ 地震と火山1	人間学Ⅱ 地震と火山1
兼任	准教授	林 正幸 (62) <平成30年4月>	林 正幸 (62) <平成30年4月>	林 正幸 (63) <平成30年4月>	林 正幸 (64) <平成30年4月>	林 正幸 (65) <平成30年4月>	林 正幸 <平成30年4月>
		小学校教育学演習Ⅰ 防災・安全教育(初等) 生涯学習論 実践体験活動演習(小)Ⅰ 実践体験活動演習(小)Ⅱ 教育実習指導(小) 教育実習Ⅰ(小) 教育実習Ⅱ(小)	小学校教育学演習Ⅰ 防災・安全教育(初等) <b>生涯学習論</b> 実践体験活動演習(小)Ⅰ 実践体験活動演習(小)Ⅱ 教育実習指導(小) <b>教育実習Ⅰ(小)</b> <b>教育実習Ⅱ(小)</b>	小学校教育学演習Ⅰ 防災・安全教育(初等) <b>生涯学習論</b> 実践体験活動演習(小)Ⅰ 実践体験活動演習(小)Ⅱ 教育実習指導(小) <b>教育実習(小)</b> <b>(削除)</b>	小学校教育学演習Ⅰ 防災・安全教育(初等) <b>生涯学習論</b> 実践体験活動演習(小)Ⅰ 実践体験活動演習(小)Ⅱ 教育実習指導(小) <b>教育実習(小)</b> <b>(削除)</b> 学(7)の進見 <b>小学校教育学演習Ⅲ</b> <b>小学校教育学演習Ⅳ</b> <b>卒業研究</b>	小学校教育学演習Ⅰ 防災・安全教育(初等) <b>生涯学習論</b> 実践体験活動演習(小)Ⅰ 実践体験活動演習(小)Ⅱ 教育実習指導(小) <b>教育実習(小)</b> <b>(削除)</b> 学(7)の進見 <b>小学校教育学演習Ⅲ</b> <b>小学校教育学演習Ⅳ</b> <b>卒業研究</b>	小学校教育学演習Ⅰ 防災・安全教育(初等) <b>生涯学習論</b> 実践体験活動演習(小)Ⅰ 実践体験活動演習(小)Ⅱ 教育実習指導(小) <b>教育実習(小)</b> <b>(削除)</b> 学(7)の進見 <b>小学校教育学演習Ⅲ</b> <b>小学校教育学演習Ⅳ</b> <b>卒業研究</b>
				<b>准教授</b>	<b>准教授</b>	<b>准教授</b>	<b>准教授</b>
				<b>人間学Ⅱ</b>	<b>人間学Ⅱ</b>	<b>人間学Ⅱ</b>	<b>人間学Ⅱ</b>
兼任	准教授	井上 和久 (57) <平成31年4月>	井上 和久 (56) <平成30年4月>	井上 和久 (57) <平成30年4月>	井上 和久 (58) <平成30年4月>	井上 和久 (59) <平成30年4月>	井上 和久 <平成30年4月>
		特別支援教育概論(初等) 障害児の教育(初等) 特別支援教育実践論(初等) おたにキッズキャンパス演習Ⅲ	特別支援教育概論(初等) 障害児の教育(初等) 特別支援教育実践論(初等) おたにキッズキャンパス演習Ⅲ <b>小学校教育学演習Ⅰ</b> <b>人間学Ⅱ</b>	特別支援教育概論(初等) 障害児の教育(初等) 特別支援教育実践論(初等) <b>(削除)</b> <b>小学校教育学演習Ⅰ</b> <b>人間学Ⅱ</b> <b>おたにキッズキャンパス演習Ⅰ</b> <b>おたにキッズキャンパス演習Ⅱ</b> <b>特別支援教育概論(幼)</b> <b>特別支援教育概論(小)</b> <b>小学校教育学演習Ⅲ</b> <b>小学校教育学演習Ⅳ</b> <b>卒業研究</b> <b>おたにキッズキャンパス演習Ⅱ</b>	特別支援教育概論(初等) 障害児の教育(初等) 特別支援教育実践論(初等) <b>(削除)</b> <b>小学校教育学演習Ⅰ</b> <b>人間学Ⅱ</b> <b>おたにキッズキャンパス演習Ⅰ</b> <b>特別支援教育概論(小)</b> <b>特別支援教育概論(幼)</b> <b>特別支援教育演習Ⅲ</b> <b>特別支援教育演習Ⅳ</b> <b>卒業研究</b> <b>おたにキッズキャンパス演習Ⅱ</b>	特別支援教育概論(初等) 障害児の教育(初等) 特別支援教育実践論(初等) <b>(削除)</b> <b>小学校教育学演習Ⅰ</b> <b>人間学Ⅱ</b> <b>おたにキッズキャンパス演習Ⅰ</b> <b>特別支援教育概論(小)</b> <b>特別支援教育概論(幼)</b> <b>特別支援教育演習Ⅲ</b> <b>特別支援教育演習Ⅳ</b> <b>卒業研究</b> <b>おたにキッズキャンパス演習Ⅱ</b>	特別支援教育概論(初等) 障害児の教育(初等) 特別支援教育実践論(初等) <b>(削除)</b> <b>小学校教育学演習Ⅰ</b> <b>人間学Ⅱ</b> <b>おたにキッズキャンパス演習Ⅰ</b> <b>特別支援教育概論(小)</b> <b>特別支援教育概論(幼)</b> <b>特別支援教育演習Ⅲ</b> <b>特別支援教育演習Ⅳ</b> <b>卒業研究</b> <b>おたにキッズキャンパス演習Ⅱ</b>
兼任	准教授	藤原 正寿 (55) <平成30年4月>	藤原 正寿 (55) <平成30年4月>	藤原 正寿 (56) <平成30年4月>	藤原 正寿 (57) <平成30年4月>	藤原 正寿 (58) <平成30年4月>	藤原 正寿 <平成30年4月>
		人間学Ⅰ 部落差別と大谷派教団1 部落差別と大谷派教団2 部落史論1 部落史論2	<b>(削除)</b> 部落差別と大谷派教団1 部落差別と大谷派教団2 <b>(削除)</b> <b>(削除)</b> <b>(削除)</b>	<b>(削除)</b> 部落差別と大谷派教団1 部落差別と大谷派教団2 <b>(削除)</b> <b>(削除)</b> <b>(削除)</b>	<b>(削除)</b> 部落差別と大谷派教団1 部落差別と大谷派教団2 <b>(削除)</b> <b>(削除)</b> <b>(削除)</b> 中国の宗教と文化	<b>(削除)</b> 部落差別と大谷派教団1 部落差別と大谷派教団2 <b>(削除)</b> <b>(削除)</b> <b>(削除)</b> 中国の宗教と文化	<b>(削除)</b> 部落差別と大谷派教団1 部落差別と大谷派教団2 <b>(削除)</b> <b>(削除)</b> <b>(削除)</b> 中国の宗教と文化

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	准教授	喜多 恵美子 (51) <平成30年4月>	兼任	准教授	喜多 恵美子 (51) <平成30年4月>	兼任	教授	喜多 恵美子 (52) <平成30年4月>	兼任	教授	喜多 恵美子 (54) <平成30年4月>
		現代朝鮮半島事情			現代朝鮮半島事情			現代朝鮮半島事情			現代朝鮮半島事情
						兼任	准教授	DASHI SHREBA (52) <令和元年4月>	兼任	准教授	DASHI SHREBA (53) <令和元年4月>
								インドの宗教と文化			インドの宗教と文化 反カースト運動論
兼任	准教授	三宅 伸一郎 (51) <平成30年4月>	兼任	准教授	三宅 伸一郎 (51) <平成30年4月>	兼任	教授	三宅 伸一郎 (52) <平成30年4月>	兼任	教授	三宅 伸一郎 (53) <平成30年4月>
		PC利用によるレポート・論文技法 ブログに学ぶ			PC利用によるレポート・論文技法 ブログに学ぶ 人間学 I			PC利用によるレポート・論文技法 ブログに学ぶ 人間学 I			(副論) (副論) 人間学 I
											浅若 裕彦 (54) <令和3年4月>
											インターンシップ特異演習1大学コン 京幕
兼任	准教授	糸巻 晃 (48) <平成31年4月>	兼任	准教授	糸巻 晃 (48) <平成31年4月>	兼任	准教授	糸巻 晃 (49) <令和元年4月>	兼任	准教授	糸巻 晃 (50) <令和元年4月>
		人間学 II			人間学 II			人間学 II			人間学 II ブログに学ぶ
						兼任	准教授	西川 幸余 (50) <令和元年4月>	兼任	准教授	西川 幸余 (51) <令和元年4月>
								英論 II			英論 II
兼任	准教授	藤田 義孝 (48) <平成30年4月>	兼任	准教授	藤田 義孝 (49) <平成30年4月>	兼任	教授	藤田 義孝 (50) <平成30年4月>	兼任	教授	藤田 義孝 (51) <平成30年4月>
		ヨーロッパの宗教と文化 (フランス)			ヨーロッパの宗教と文化 (フランス)			ヨーロッパの宗教と文化 (フランス)			ヨーロッパの宗教と文化 (フランス)
兼任	准教授	箕浦 曉雄 (48) <平成30年4月>	兼任	准教授	箕浦 曉雄 (48) <平成30年4月>	兼任	教授	箕浦 曉雄 (49) <平成30年4月>	兼任	教授	箕浦 曉雄 (50) <平成30年4月>
		人間学 I 中国の宗教と文化 反カースト運動論			人間学 I 中国の宗教と文化 反カースト運動論			人間学 I 中国の宗教と文化 反カースト運動論			人間学 I (副論) (副論) 反カースト運動論
兼任	准教授	山田 恵文 (47) <平成31年4月>	兼任	准教授	山田 恵文 (47) <平成31年4月>	兼任	准教授	山田 恵文 (48) <令和元年4月>	兼任	准教授	山田 恵文 (49) <令和元年4月>
		人間学 II			人間学 II			人間学 II			人間学 II
兼任	准教授	大塚 一浩 (45) <平成31年4月>	兼任	准教授	大塚 一浩 (45) <平成31年4月>	兼任	准教授	大塚 一浩 (46) <令和元年4月>	兼任	准教授	大塚 一浩 (47) <令和元年4月>
		人間学 II			人間学 II			人間学 II			人間学 II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
専任・兼任の別		職名
専任・兼任の別		職名
兼任	准教授	藤枝 真 (45) <平成31年4月>
兼任	准教授	三浦 馨史加 (45) <平成30年4月>
兼任	准教授	廣川 智貴 (44) <平成30年4月>
兼任	准教授	井黒 忍 (43) <平成30年4月>
兼任	講師	新田 智通 (47) <平成31年4月>
兼任	講師	川端 泰幸 (42) <平成30年4月>
兼任	講師	高橋 真 (40) <平成31年4月>
兼任	講師	諸根 貴夫 (68) <平成30年4月>

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
専任・兼任の別		職名
専任・兼任の別		職名
兼任	准教授	藤枝 真 (45) <平成31年4月>
兼任	准教授	三浦 馨史加 (45) <b>&lt;平成31年4月&gt;</b>
兼任	准教授	廣川 智貴 (44) <平成30年4月>
兼任	准教授	井黒 忍 (43) <令和元年4月>
兼任	講師	新田 智通 (47) <平成31年4月>
兼任	講師	藤元 雅文 (45) <b>&lt;平成30年4月&gt;</b>
兼任	講師	M. J. CONWAY (42) <b>&lt;令和元年4月&gt;</b>
兼任	講師	高橋 真 (40) <平成31年4月>
兼任	講師	諸根 貴夫 (68) <平成30年4月>

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
専任・兼任の別		職名
専任・兼任の別		職名
兼任	准教授	藤枝 真 (46) <令和元年4月>
兼任	准教授	三浦 馨史加 (46) <令和元年4月>
兼任	准教授	廣川 智貴 (45) <平成30年4月>
兼任	准教授	井黒 忍 (46) <b>&lt;令和元年4月&gt;</b>
兼任	准教授	赤澤 清孝 (44) <b>&lt;令和元年4月&gt;</b>
兼任	准教授	新田 智通 (48) <令和元年4月>
兼任	准教授	藤元 雅文 (46) <b>&lt;平成30年4月&gt;</b>
兼任	講師	M. J. CONWAY (42) <b>&lt;令和元年4月&gt;</b>
兼任	講師	諸根 貴夫 (69) <平成30年4月>

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
専任・兼任の別		職名
専任・兼任の別		職名
兼任	准教授	藤枝 真 (47) <令和元年4月>
兼任	准教授	三浦 馨史加 (47) <令和元年4月>
兼任	准教授	廣川 智貴 (46) <平成30年4月>
兼任	准教授	井黒 忍 (46) <b>&lt;令和元年4月&gt;</b>
兼任	准教授	赤澤 清孝 (45) <b>&lt;令和元年4月&gt;</b>
兼任	准教授	新田 智通 (49) <令和元年4月>
兼任	准教授	藤元 雅文 (47) <b>&lt;平成30年4月&gt;</b>
兼任	講師	M. J. CONWAY (43) <b>&lt;令和元年4月&gt;</b>
兼任	講師	戸次 顕彰 (38) <b>&lt;令和2年4月&gt;</b>
兼任	講師	諸根 貴夫 (69) <平成30年4月>

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
専任・兼任の別		職名
専任・兼任の別		職名
兼任	准教授	藤枝 真 (48) <令和元年4月>
兼任	准教授	三浦 馨史加 (48) <令和元年4月>
兼任	准教授	廣川 智貴 (47) <平成30年4月>
兼任	准教授	井黒 忍 (49) <b>&lt;令和元年4月&gt;</b>
兼任	准教授	赤澤 清孝 (46) <b>&lt;令和元年4月&gt;</b>
兼任	准教授	新田 智通 (50) <令和元年4月>
兼任	准教授	藤元 雅文 (48) <b>&lt;平成30年4月&gt;</b>
兼任	准教授	M. J. CONWAY (44) <b>&lt;令和元年4月&gt;</b>
兼任	准教授	諸根 貴夫 (69) <平成30年4月>



専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名
兼任 講師		菊地 るみ子 (65) <平成31年4月>	初等科教育法(家庭) 教科(家庭)
兼任 講師		今井 敬博 (63) <平成32年4月>	算数(幼)
兼任 講師		中島 千恵 (64) <平成31年4月>	教育行財政学(小) 保育原理Ⅱ
兼任 講師		廣 西賢 (65) <平成30年4月>	こころの科学 人間理解の心理学
兼任 講師		小川 晴美 (63) <平成31年4月>	保育内容総論 野外活動 保育実習Ⅰ 保育実習指導Ⅰ 保育実習Ⅱ 保育実習指導Ⅱ 保育相談支援
兼任 講師		川崎 秀一 (64) <平成30年4月>	子どもの保健Ⅰa 子どもの保健Ⅰb
兼任 講師		本多 義治 (64) <平成30年4月>	脳とこころ
兼任 講師		東 裕子 (63) <平成30年4月>	英語Ⅰ 英語Ⅱ
兼任 講師		木村 章子 (63) <平成30年4月>	子どもの保健Ⅱ 乳児保育

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名
兼任 講師		菊地 るみ子 (65) <平成31年4月>	初等科教育法(家庭) 教科(家庭)
兼任 講師		今井 敬博 (63) <平成32年4月>	算数(幼)
兼任 講師		中島 千恵 (64) <平成31年4月>	教育行財政学(小) 保育原理Ⅱ
兼任 講師		廣 西賢 (65) <平成30年4月>	こころの科学 人間理解の心理学
兼任 講師		小川 晴美 (63) <平成31年4月>	保育内容総論 野外活動 保育実習Ⅰ 保育実習指導Ⅰ 保育実習Ⅱ 保育実習指導Ⅱ 保育相談支援
兼任 講師		川崎 秀一 (64) <平成30年4月>	子どもの保健Ⅰa 子どもの保健Ⅰb
兼任 講師		本多 義治 (64) <平成30年4月>	脳とこころ
兼任 講師		木村 章子 (63) <平成31年4月>	子どもの保健Ⅱ (削除)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名
兼任 講師		菊地 るみ子 (66) <令和元年4月>	初等科教育法(家庭) 教科(家庭)
兼任 講師		今井 敬博 (64) <令和2年4月>	算数(幼)
兼任 講師		中島 千恵 (65) <令和元年4月>	教育行財政学(小) 保育原理Ⅱ
兼任 講師		廣 西賢 (66) <平成30年4月>	こころの科学 人間理解の心理学
兼任 講師		小川 晴美 (64) <令和元年4月>	保育内容総論 野外活動 保育実習Ⅰ 保育実習指導Ⅰ 保育実習Ⅱ 保育実習指導Ⅱ 保育相談支援 おおたにキッズキャンパス演習Ⅲ 子ども家庭支援 子どもの健康と安全
兼任 講師		村瀬 順子 (66) <令和元年4月>	英語Ⅱ
兼任 講師		木村 章子 (64) <令和元年4月>	子どもの保健Ⅱ (削除)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名
兼任 講師		佐藤 恒子 (67) <令和2年4月>	保育内容(健康)の理論と方法
兼任 講師		菊地 るみ子 (67) <令和元年4月>	初等科教育法(家庭) 教科(家庭)
兼任 講師		今井 敬博 (65) <令和2年4月>	算数(幼)
兼任 講師		中島 千恵 (66) <令和元年4月>	教育行財政学(小) 保育原理Ⅱ
兼任 講師		廣 西賢 (67) <平成30年4月>	こころの科学 人間理解の心理学
兼任 講師		小川 晴美 (65) <令和元年4月>	(削除) 野外活動 保育実習Ⅰ 保育実習指導Ⅰ 保育実習Ⅱ 保育実習指導Ⅱ 保育相談支援 おおたにキッズキャンパス演習Ⅲ 子ども家庭支援 子どもの健康と安全
兼任 講師		村瀬 順子 (66) <令和元年4月>	英語Ⅱ
兼任 講師		木村 章子 (65) <令和元年4月>	子どもの保健Ⅱ (削除)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名
兼任 講師		菊地 るみ子 (68) <令和元年4月>	初等科教育法(家庭) 教科(家庭)
兼任 講師		今井 敬博 (66) <令和2年4月>	算数(幼)
兼任 講師		中島 千恵 (67) <令和元年4月>	教育行財政学(小) 保育原理Ⅱ
兼任 講師		廣 西賢 (68) <平成30年4月>	こころの科学 人間理解の心理学
兼任 講師		小川 晴美 (66) <令和元年4月>	(削除) 野外活動 保育実習指導Ⅰ 保育実習指導Ⅱ 保育相談支援 おおたにキッズキャンパス演習Ⅲ 子ども家庭支援 子どもの健康と安全 子どもの保健Ⅱ 乳児保育Ⅰ
兼任 講師		村瀬 順子 (67) <令和元年4月>	英語Ⅱ
兼任 講師		木村 章子 (66) <令和元年4月>	子どもの保健Ⅱ (削除)

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
担当授業科目名		
兼任	講師	西尾 由利子 (63) <平成30年4月>
		英語 I 英語 II
兼任	講師	松原 伸一 (62) <平成31年4月>
		ICT教育 小学校プログラミング演習
兼任	講師	岡崎 均 (60) <平成31年4月>
		初等科教育法(社会) 教科(社会)
兼任	講師	河原 慶子 (60) <平成30年4月>
		身体活動 I 身体活動 II
兼任	講師	中尾 都史子 (60) <平成30年4月>
		キャリアデザイン概論1 キャリアデザイン概論2
兼任	講師	秋山 麗子 (57) <平成31年4月>
		特別活動論(小) 生徒・進路指導論(小)
兼任	講師	鶴野 祐介 (56) <平成32年4月>
		教育社会学(幼)
兼任	講師	山内 小夜子 (58) <平成30年4月>
		アジア侵略と宗教 非戦の系譜

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
担当授業科目名		
兼任	講師	西尾 由利子 (63) <平成30年4月>
		英語 I 英語 II
兼任	講師	松原 伸一 (62) <平成31年4月>
		ICT教育 小学校プログラミング演習
兼任	講師	岡崎 均 (61) <平成31年4月>
		初等科教育法(社会) 教科(社会)
兼任	講師	河原 慶子 (60) <平成30年4月>
		身体活動 I 身体活動 II
兼任	講師	中尾 都史子 (60) <平成30年4月>
		キャリアデザイン概論1 キャリアデザイン概論2
兼任	講師	秋山 麗子 (57) <平成31年4月>
		特別活動論(小) 生徒・進路指導論(小)
兼任	講師	鶴野 祐介 (57) <平成32年4月>
		教育社会学(幼)
兼任	講師	山内 小夜子 (58) <平成30年4月>
		アジア侵略と宗教 非戦の系譜

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
担当授業科目名		
兼任	講師	西尾 由利子 (64) <平成30年4月>
		英語 I 英語 II
兼任	講師	松原 伸一 (63) <令和元年4月>
		ICT教育 小学校プログラミング演習
兼任	講師	岡崎 均 (61) <令和元年4月>
		初等科教育法(社会) 教科(社会)
兼任	講師	河原 慶子 (61) <平成30年4月>
		身体活動 I 身体活動 II
兼任	講師	中尾 都史子 (61) <平成30年4月>
		キャリアデザイン概論1 キャリアデザイン概論2
兼任	講師	秋山 麗子 (58) <令和元年4月>
		特別活動論(小) 生徒・進路指導論(小)
兼任	講師	鶴野 祐介 (57) <令和2年4月>
		教育社会学(幼)
兼任	講師	山内 小夜子 (59) <平成30年4月>
		アジア侵略と宗教 非戦の系譜

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
担当授業科目名		
兼任	講師	西尾 由利子 (65) <平成30年4月>
		英語 I 英語 II
兼任	講師	松原 伸一 (64) <令和元年4月>
		ICT教育 小学校プログラミング演習
兼任	講師	岡崎 均 (62) <令和元年4月>
		初等科教育法(社会) 教科(社会)
兼任	講師	河原 慶子 (62) <平成30年4月>
		身体活動 I 身体活動 II
兼任	講師	中尾 都史子 (62) <平成30年4月>
		キャリアデザイン概論1 キャリアデザイン概論2
兼任	講師	秋山 麗子 (59) <令和元年4月>
		特別活動論(小) 生徒・進路指導論(小)
兼任	講師	鶴野 祐介 (58) <令和2年4月>
		教育社会学(幼)
兼任	講師	山内 小夜子 (60) <平成30年4月>
		アジア侵略と宗教 非戦の系譜

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
担当授業科目名		
兼任	講師	西尾 由利子 (66) <平成30年4月>
		英語 I 英語 II
兼任	講師	松原 伸一 (65) <令和元年4月>
		ICT教育 小学校プログラミング演習
兼任	講師	岡崎 均 (63) <令和元年4月>
		初等科教育法(社会) 教科(社会)
兼任	講師	河原 慶子 (63) <平成30年4月>
		身体活動 I 身体活動 II
兼任	講師	中尾 都史子 (63) <平成30年4月>
		キャリアデザイン概論1 キャリアデザイン概論2
兼任	講師	秋山 麗子 (60) <令和元年4月>
		特別活動論(小) 生徒・進路指導論(小)
兼任	講師	鶴野 祐介 (59) <令和2年4月>
		教育社会学(幼)
兼任	講師	山内 小夜子 (61) <平成30年4月>
		アジア侵略と宗教 非戦の系譜

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名
兼任 講師		青木 恵子 (56) <平成30年4月>	スポーツ研究演習Ⅰ スポーツ研究演習Ⅱ 身体活動Ⅰ 身体活動Ⅱ
兼任 講師		杉本 理 (56) <平成31年4月>	人間学Ⅱ
兼任 講師		山口 祥二 (57) <平成30年4月>	古都の歴史と文化
兼任 講師		堀田 博史 (55) <平成31年4月>	教育方法論(功)※
兼任 講師		訓覇 浩 (55) <平成30年4月>	障害者・病者と共に生きる アイヌ民族と共に
兼任 講師		本林 靖久 (55) <平成31年4月>	人と文化
兼任 講師		太田 純 (54) <平成30年4月>	英語Ⅰ 英語Ⅱ
兼任 講師		太田(北島)智子 (53) <平成30年4月>	総合表現演習Ⅰ 総合表現演習Ⅱ 保育実習指導Ⅰ 保育実習指導Ⅱ <b>喜びの発見</b>
兼任 講師		矢野 智子 (54) <平成32年4月>	初等科教育法(外国語活動) 教科(外国語活動)
兼任 講師		木塚 恵子 (53) <平成30年4月>	英語Ⅰ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名
兼任 講師		青木 恵子 (56) <平成30年4月>	スポーツ研究演習Ⅰ スポーツ研究演習Ⅱ 身体活動Ⅰ 身体活動Ⅱ
兼任 講師		杉本 理 (56) <平成31年4月>	人間学Ⅱ
兼任 講師		山口 祥二 (57) <平成30年4月>	古都の歴史と文化
兼任 講師		堀田 博史 (55) <平成31年4月>	教育方法論(功)※
兼任 講師		訓覇 浩 (55) <平成30年4月>	障害者・病者と共に生きる アイヌ民族と共に
兼任 講師		本林 靖久 (55) <平成31年4月>	人と文化
兼任 講師		太田 純 (54) <平成30年4月>	英語Ⅰ 英語Ⅱ
兼任 講師		太田(北島)智子 (53) <平成30年4月>	総合表現演習Ⅰ 総合表現演習Ⅱ 保育実習指導Ⅰ 保育実習指導Ⅱ <b>喜びの発見</b>
兼任 講師		矢野 智子 (54) <平成32年4月>	初等科教育法(外国語活動) 教科(外国語活動)
兼任 講師		木塚 恵子 (53) <平成30年4月>	英語Ⅰ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名
兼任 講師		青木 恵子 (56) <平成30年4月>	スポーツ研究演習Ⅰ スポーツ研究演習Ⅱ 身体活動Ⅰ 身体活動Ⅱ
兼任 講師		杉本 理 (56) <令和元年4月>	人間学Ⅱ
兼任 講師		山口 祥二 (57) <平成30年4月>	古都の歴史と文化
兼任 講師		堀田 博史 (56) <令和元年4月>	教育方法論(功)※
兼任 講師		訓覇 浩 (56) <平成30年4月>	障害者・病者と共に生きる アイヌ民族と共に
兼任 講師		本林 靖久 (57) <令和元年4月>	人と文化
兼任 講師		太田 純 (55) <平成30年4月>	英語Ⅰ 英語Ⅱ
兼任 講師		太田(北島)智子 (54) <平成30年4月>	総合表現演習Ⅰ 総合表現演習Ⅱ 保育実習指導Ⅰ 保育実習指導Ⅱ <b>喜びの発見</b>
兼任 講師		矢野 智子 (54) <令和2年4月>	初等科教育法(外国語活動) 教科(外国語活動)
兼任 講師		木塚 恵子 (54) <平成30年4月>	英語Ⅰ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名
兼任 講師		青木 恵子 (56) <平成30年4月>	スポーツ研究演習Ⅰ スポーツ研究演習Ⅱ 身体活動Ⅰ 身体活動Ⅱ
兼任 講師		杉本 理 (58) <令和元年4月>	人間学Ⅱ
兼任 講師		山口 祥二 (59) <平成30年4月>	古都の歴史と文化
兼任 講師		堀田 博史 (58) <令和元年4月>	教育方法論(功)※
兼任 講師		訓覇 浩 (57) <平成30年4月>	障害者・病者と共に生きる アイヌ民族と共に
兼任 講師		本林 靖久 (58) <令和元年4月>	人と文化
兼任 講師		太田 純 (56) <平成30年4月>	英語Ⅰ 英語Ⅱ
兼任 講師		太田(北島)智子 (55) <平成30年4月>	総合表現演習Ⅰ 総合表現演習Ⅱ 保育実習指導Ⅰ 保育実習指導Ⅱ <b>喜びの発見</b>
兼任 講師		矢野 智子 (54) <令和2年4月>	初等科教育法(外国語活動) 教科(外国語活動)
兼任 講師		木塚 恵子 (56) <平成30年4月>	英語Ⅰ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名
兼任 講師		青木 恵子 (59) <平成30年4月>	スポーツ研究演習Ⅰ スポーツ研究演習Ⅱ 身体活動Ⅰ 身体活動Ⅱ
兼任 講師		杉本 理 (59) <令和元年4月>	人間学Ⅱ
兼任 講師		山口 祥二 (60) <平成30年4月>	古都の歴史と文化
兼任 講師		堀田 博史 (58) <令和元年4月>	教育方法論(功)※
兼任 講師		訓覇 浩 (58) <平成30年4月>	障害者・病者と共に生きる アイヌ民族と共に
兼任 講師		本林 靖久 (58) <令和元年4月>	人と文化
兼任 講師		太田 純 (57) <平成30年4月>	英語Ⅰ <b>(削除)</b>
兼任 教員		太田(北島)智子 (56) <平成30年4月>	総合表現演習Ⅰ 総合表現演習Ⅱ 保育実習指導Ⅰ 保育実習指導Ⅱ <b>喜びの発見</b> <b>図画工作(幼)Ⅱ</b> <b>図画工作(幼)Ⅲ</b>
兼任 講師		木塚 恵子 (56) <平成30年4月>	英語Ⅰ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>	<就任(予定)年月>	<就任(予定)年月>	<就任(予定)年月>	<就任(予定)年月>	<就任(予定)年月>
		担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名
			<b>宮前 千穂子</b> (53) <b>&lt;平成30年4月&gt;</b>	<b>宮前 千穂子</b> (54) <b>&lt;平成30年4月&gt;</b>	<b>宮前 千穂子</b> (55) <b>&lt;平成30年4月&gt;</b>	<b>宮前 千穂子</b> (56) <b>&lt;平成30年4月&gt;</b>	<b>宮前 千穂子</b> (55) <b>&lt;平成30年4月&gt;</b>
			<b>兼任 講師</b> 新専史論1 新専史論2	<b>兼任 講師</b> 新専史論1 新専史論2	<b>兼任 講師</b> 新専史論1 新専史論2	<b>兼任 講師</b> 新専史論1 新専史論2	<b>兼任 講師</b> 新専史論1 新専史論2
兼任	講師	堅田 理 (52) <平成30年4月>	堅田 理 (52) <平成30年4月>	堅田 理 (53) <平成30年4月>	堅田 理 (54) <平成30年4月>	堅田 理 (55) <平成30年4月>	堅田 理 (55) <平成30年4月>
		仏教と美術	仏教と美術	仏教と美術	仏教と美術	仏教と美術	仏教と美術
			<b>兼任 講師</b> <b>西田 廣和</b> (52) <b>&lt;平成30年4月&gt;</b>	<b>兼任 講師</b> <b>西田 廣和</b> (53) <b>&lt;平成30年4月&gt;</b>	<b>兼任 講師</b> <b>西田 廣和</b> (54) <b>&lt;平成30年4月&gt;</b>	<b>兼任 講師</b> <b>西田 廣和</b> (55) <b>&lt;平成30年4月&gt;</b>	<b>兼任 講師</b> <b>西田 廣和</b> (56) <b>&lt;平成30年4月&gt;</b>
			<b>兼任 講師</b> 英語 I	<b>兼任 講師</b> 英語 I	<b>兼任 講師</b> 英語 I	<b>兼任 講師</b> 英語 I	<b>兼任 講師</b> 英語 I
				<b>兼任 講師</b> <b>松田 美樹</b> (53) <b>&lt;令和元年4月&gt;</b>	<b>兼任 講師</b> <b>松田 美樹</b> (54) <b>&lt;令和元年4月&gt;</b>	<b>兼任 講師</b> <b>松田 美樹</b> (55) <b>&lt;令和元年4月&gt;</b>	<b>兼任 講師</b> <b>松田 美樹</b> (56) <b>&lt;令和元年4月&gt;</b>
				<b>兼任 講師</b> 英語 II	<b>兼任 講師</b> 英語 II	<b>兼任 講師</b> 英語 II	<b>兼任 講師</b> 英語 II
兼任	講師	三木 彰円 (52) <平成30年4月>	三木 彰円 (52) <平成30年4月>	三木 彰円 (53) <平成30年4月>	三木 彰円 (54) <平成30年4月>	三木 彰円 (55) <平成30年4月>	三木 彰円 (55) <平成30年4月>
		人間学 II インドの宗教と文化	人間学 II インドの宗教と文化	<b>兼任 教授</b> <b>(削除)</b> インドの宗教と文化	<b>兼任 教授</b> <b>(削除)</b> インドの宗教と文化	<b>兼任 教授</b> <b>(削除)</b> インドの宗教と文化	<b>兼任 教授</b> <b>(削除)</b> インドの宗教と文化
兼任	講師	山城 悠暢 (52) <平成30年4月>	山城 悠暢 (52) <平成30年4月>	山城 悠暢 (53) <平成30年4月>	山城 悠暢 (54) <平成30年4月>	山城 悠暢 (55) <平成30年4月>	山城 悠暢 (55) <平成30年4月>
		画像処理入門 画像処理応用	画像処理入門 画像処理応用	画像処理入門 画像処理応用	画像処理入門 画像処理応用	画像処理入門 画像処理応用	画像処理入門 画像処理応用
兼任	講師	河井 純子 (51) <平成30年4月>	河井 純子 (51) <平成30年4月>	河井 純子 (52) <平成30年4月>	河井 純子 (53) <平成30年4月>	河井 純子 (54) <平成30年4月>	河井 純子 (54) <平成30年4月>
		英語 I	英語 I	英語 I	英語 I	英語 I	英語 I
兼任	講師	笠原 俊典 (50) <平成30年4月>	笠原 俊典 (50) <平成30年4月>	笠原 俊典 (51) <平成30年4月>	笠原 俊典 (52) <平成30年4月>	笠原 俊典 (53) <平成30年4月>	笠原 俊典 (53) <平成30年4月>
		仏教福祉論	仏教福祉論	仏教福祉論	仏教福祉論	仏教福祉論	仏教福祉論
兼任	講師	福山 幸子 (50) <平成30年4月>	福山 幸子 (50) <b>&lt;平成31年4月&gt;</b>	福山 幸子 (51) <令和元年4月>	福山 幸子 (52) <令和元年4月>	福山 幸子 (53) <令和元年4月>	福山 幸子 (53) <令和元年4月>
		カウンセリング	カウンセリング	カウンセリング	カウンセリング	カウンセリング	カウンセリング
						<b>兼任 講師</b> <b>人間学 II</b>	
兼任	講師	田中 智子 (49) <平成30年4月>	田中 智子 (49) <平成30年4月>	田中 智子 (50) <平成30年4月>	田中 智子 (51) <平成30年4月>	田中 智子 (52) <平成30年4月>	田中 智子 (52) <平成30年4月>
		近代日本とアジア	近代日本とアジア	近代日本とアジア	近代日本とアジア	近代日本とアジア	近代日本とアジア
兼任	講師	種子田 香 (49) <平成31年4月>	種子田 香 (49) <平成31年4月>				
		英語 II	英語 II				
兼任	講師	新川 泰弘 (49) <平成32年4月>	新川 泰弘 (49) <平成32年4月>	新川 泰弘 (49) <令和2年4月>	新川 泰弘 (49) <令和2年4月>	新川 泰弘 (50) <令和2年4月>	新川 泰弘 (50) <令和2年4月>
		社会福祉 家庭支援論	社会福祉 家庭支援論	社会福祉 家庭支援論 <b>子ども家庭支援の心理学</b>	社会福祉 家庭支援論 <b>子ども家庭支援の心理学</b>	社会福祉 家庭支援論 <b>子ども家庭支援の心理学</b>	社会福祉 家庭支援論 <b>子ども家庭支援の心理学</b>

専任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢)
		<就任(予定)年月>
担当授業科目名		
兼任	講師	杉山 正治 (48) <平成30年4月>
		PC利用によるプレゼンテーション Webサイト構築入門 Webサイト構築応用
兼任	講師	狭間 芳樹 (48) <平成30年4月>
		思考法入門 ポルトガル語圏のくらしと言葉1 ポルトガル語圏のくらしと言葉2
兼任	講師	森 禎弘 (48) <平成31年4月>
		PC利用による表計算入門 PC利用による表計算応用
兼任	講師	川村 高弘 (47) <平成30年4月>
		教職入門(5b) 保育内容(人間関係)の理論と方法
兼任	講師	瀬戸 奈美子 (46) <平成31年4月>
		英語Ⅱ
兼任	講師	大西 慎也 (46) <平成31年4月>
		初等科教育法(生活) 教科(生活)
兼任	講師	鶴見 晃 (46) <平成30年4月>
		部落差別と浄土真宗1 部落差別と浄土真宗2
兼任	講師	宮原 道子 (46) <平成30年4月>
		授業心理学 教室の心理学
兼任	講師	佐久間 思帆 (45) <平成30年4月>
		英語Ⅰ
兼任	講師	横澤 大典 (45) <平成30年4月>
		ワード・プロセッシング入門 ワード・プロセッシング応用
兼任	講師	生田 教司 (44) <平成30年4月>
		PCミュージック入門 PCミュージック応用
兼任	講師	伊村 大樹 (44) <平成31年4月>
		英語Ⅱ

専任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢)
		<就任(予定)年月>
担当授業科目名		
兼任	講師	杉山 正治 (48) <平成30年4月>
		PC利用によるプレゼンテーション Webサイト構築入門 Webサイト構築応用
兼任	講師	狭間 芳樹 (48) <平成30年4月>
		思考法入門 ポルトガル語圏のくらしと言葉1 ポルトガル語圏のくらしと言葉2
兼任	講師	川村 高弘 (47) <平成30年4月>
		教職入門(5b) 保育内容(人間関係)の理論と方法
兼任	講師	瀬戸 奈美子 (46) <平成31年4月>
		英語Ⅱ
兼任	講師	大西 慎也 (46) <平成31年4月>
		初等科教育法(生活) 教科(生活)
兼任	講師	鶴見 晃 (47) <平成30年4月>
		部落差別と浄土真宗1 部落差別と浄土真宗2
兼任	講師	宮原 道子 (46) <平成30年4月>
		授業心理学 教室の心理学
兼任	講師	佐久間 思帆 (45) <平成30年4月>
		英語Ⅰ
兼任	講師	横澤 大典 (45) <平成30年4月>
		ワード・プロセッシング入門 ワード・プロセッシング応用
兼任	講師	生田 教司 (44) <平成30年4月>
		PCミュージック入門 PCミュージック応用
兼任	講師	伊村 大樹 (44) <平成31年4月>
		英語Ⅱ

専任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢)
		<就任(予定)年月>
担当授業科目名		
兼任	講師	杉山 正治 (49) <平成30年4月>
		PC利用によるプレゼンテーション Webサイト構築入門 Webサイト構築応用
兼任	講師	狭間 芳樹 (50) <平成30年4月>
		思考法入門 ポルトガル語圏のくらしと言葉1 ポルトガル語圏のくらしと言葉2
兼任	講師	川村 高弘 (48) <平成30年4月>
		教職入門(5b) 保育内容(人間関係)の理論と方法
兼任	講師	瀬戸 奈美子 (47) <令和元年4月>
		英語Ⅱ
兼任	講師	鶴見 晃 (48) <平成30年4月>
		部落差別と浄土真宗1 部落差別と浄土真宗2
兼任	講師	宮原 道子 (47) <平成30年4月>
		授業心理学 教室の心理学
兼任	講師	佐久間 思帆 (46) <平成30年4月>
		英語Ⅰ
兼任	講師	横澤 大典 (46) <平成30年4月>
		ワード・プロセッシング入門 ワード・プロセッシング応用
兼任	講師	生田 教司 (45) <平成30年4月>
		PCミュージック入門 PCミュージック応用
兼任	講師	伊村 大樹 (44) <平成31年4月>
		英語Ⅱ

専任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢)
		<就任(予定)年月>
担当授業科目名		
兼任	講師	杉山 正治 (50) <平成30年4月>
		PC利用によるプレゼンテーション Webサイト構築入門 Webサイト構築応用
兼任	講師	狭間 芳樹 (50) <平成30年4月>
		思考法入門 ポルトガル語圏のくらしと言葉1 ポルトガル語圏のくらしと言葉2
兼任	講師	川村 高弘 (49) <平成30年4月>
		教職入門(5b) 保育内容(人間関係)の理論と方法
兼任	講師	瀬戸 奈美子 (49) <令和元年4月>
		英語Ⅱ
兼任	講師	鶴見 晃 (50) <平成30年4月>
		部落差別と浄土真宗1 部落差別と浄土真宗2
兼任	講師	宮原 道子 (48) <平成30年4月>
		授業心理学 教室の心理学
兼任	講師	佐久間 思帆 (47) <平成30年4月>
		英語Ⅰ
兼任	講師	横澤 大典 (47) <令和元年4月>
		人間学Ⅱ
兼任	講師	横澤 大典 (47) <平成30年4月>
		ワード・プロセッシング入門 ワード・プロセッシング応用
兼任	講師	生田 教司 (46) <平成30年4月>
		PCミュージック入門 PCミュージック応用
兼任	講師	伊村 大樹 (44) <平成31年4月>
		英語Ⅱ

専任・兼任の別	職名	氏名 (年 齢)
		<就任(予定)年月>
担当授業科目名		
兼任	講師	杉山 正治 (51) <平成30年4月>
		PC利用によるプレゼンテーション Webサイト構築入門 Webサイト構築応用
兼任	講師	狭間 芳樹 (51) <平成30年4月>
		思考法入門 ポルトガル語圏のくらしと言葉1 ポルトガル語圏のくらしと言葉2
兼任	講師	川村 高弘 (50) <平成30年4月>
		教職入門(5b) 保育内容(人間関係)の理論と方法
兼任	講師	瀬戸 奈美子 (49) <令和元年4月>
		英語Ⅱ
兼任	講師	鶴見 晃 (50) <平成30年4月>
		部落差別と浄土真宗1 部落差別と浄土真宗2
兼任	講師	宮原 道子 (49) <平成30年4月>
		授業心理学 教室の心理学
兼任	講師	佐久間 思帆 (47) <平成30年4月>
		英語Ⅰ
兼任	講師	横澤 大典 (47) <平成30年4月>
		ワード・プロセッシング入門 ワード・プロセッシング応用
兼任	講師	生田 教司 (47) <平成30年4月>
		PCミュージック入門 PCミュージック応用 PC利用によるレポート・論文技法
兼任	講師	伊村 大樹 (44) <平成31年4月>
		英語Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名
兼任	講師	佐藤 純子 (44) <平成30年4月>	子どもの食と栄養
兼任	講師	清水 洋平 (44) <平成30年4月>	人間学Ⅱ 東南アジアの宗教文化
兼任	講師	新美 秀和 (43) <平成30年4月>	こどもの描画分析
兼任	講師	西本 祐福 (43) <平成30年4月>	人間学Ⅰ 人間学Ⅱ 視覚に学ぶ
兼任	講師	三上 績次 (43) <平成30年4月>	地震と火山2 地球科学1 地球科学2 地球環境と生命の共進化
兼任	講師	永井 久美子 (46) <平成30年4月>	乳児保育
兼任	講師	岡田 朋子 (46) <平成30年4月>	子どもの保健Ⅰa 子どもの保健Ⅰb
兼任	講師	大西 将史 (38) <平成32年4月>	青年心理学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名
兼任	講師	佐藤 純子 (44) <平成30年4月>	子どもの食と栄養
兼任	講師	清水 洋平 (44) <平成30年4月>	人間学Ⅱ 東南アジアの宗教文化
兼任	講師	新美 秀和 (43) <平成30年4月>	こどもの描画分析
兼任	講師	西本 祐福 (43) <平成30年4月>	人間学Ⅰ 人間学Ⅱ 視覚に学ぶ
兼任	講師	平塚 聡 (43) <平成30年4月>	PC利用による表計算入門 PC利用による表計算応用
兼任	講師	三上 績次 (43) <平成30年4月>	地震と火山2 地球科学1 地球科学2 地球環境と生命の共進化
兼任	講師	清水 利明 (42) <平成30年4月>	発露から表現へ
兼任	講師	永井 久美子 (46) <平成30年4月>	乳児保育
兼任	講師	岡田 朋子 (46) <平成30年4月>	子どもの保健Ⅰa 子どもの保健Ⅰb
兼任	講師	大西 将史 (38) <平成32年4月>	青年心理学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名
兼任	講師	佐藤 純子 (44) <平成30年4月>	子どもの食と栄養
兼任	講師	清水 洋平 (44) <平成30年4月>	人間学Ⅱ 東南アジアの宗教文化
兼任	講師	新美 秀和 (43) <平成30年4月>	こどもの描画分析
兼任	講師	西本 祐福 (43) <平成30年4月>	人間学Ⅰ 人間学Ⅱ (削除)
兼任	講師	平塚 聡 (44) <平成30年4月>	PC利用による表計算入門 PC利用による表計算応用
兼任	講師	三上 績次 (44) <平成30年4月>	地震と火山2 地球科学1 地球科学2 地球環境と生命の共進化
兼任	講師	清水 利明 (43) <平成30年4月>	発露から表現へ
兼任	講師	近藤 雄生 (42) <令和元年4月>	人間学Ⅱ
兼任	講師	永井 久美子 (46) <平成30年4月>	乳児保育 乳児保育Ⅰ 乳児保育Ⅱ
兼任	講師	岡田 朋子 (46) <平成30年4月>	(削除) 子どもの保健Ⅰb 子どもの保健 子どもの健康と安全
兼任	講師	大西 将史 (39) <令和2年4月>	青年心理学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名
兼任	講師	佐藤 純子 (44) <平成30年4月>	子どもの食と栄養
兼任	講師	清水 洋平 (44) <平成30年4月>	人間学Ⅱ 東南アジアの宗教文化
兼任	講師	新美 秀和 (45) <平成30年4月>	こどもの描画分析
兼任	准教授	西本 祐福 (45) <平成30年4月>	人間学Ⅰ 人間学Ⅱ (削除)
兼任	講師	平塚 聡 (46) <平成30年4月>	PC利用による表計算入門 PC利用による表計算応用
兼任	講師	三上 績次 (45) <平成30年4月>	地震と火山2 地球科学1 地球科学2 地球環境と生命の共進化
兼任	講師	清水 利明 (46) <平成30年4月>	発露から表現へ
兼任	講師	永井 久美子 (46) <平成30年4月>	(削除) 乳児保育Ⅰ 乳児保育Ⅱ
兼任	講師	岡田 朋子 (46) <平成30年4月>	(削除) 子どもの保健 子どもの健康と安全
兼任	講師	大西 将史 (39) <令和2年4月>	青年心理学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名
兼任	講師	佐藤 純子 (44) <平成30年4月>	子どもの食と栄養
兼任	講師	清水 洋平 (44) <平成30年4月>	人間学Ⅱ 東南アジアの宗教文化
兼任	講師	長岡 真奈 (47) <令和3年4月>	心理療法と教育
兼任	講師	柳生 利憲 (47) <令和3年4月>	キャリアデザイン概論1 キャリアデザイン概論2 キャリアデザイン実践1 キャリアデザイン実践2
兼任	講師	新美 秀和 (46) <平成30年4月>	こどもの描画分析
兼任	准教授	西本 祐福 (46) <平成30年4月>	人間学Ⅰ 人間学Ⅱ (削除)
兼任	講師	平塚 聡 (46) <平成30年4月>	PC利用による表計算入門 PC利用による表計算応用
兼任	講師	三上 績次 (46) <平成30年4月>	地震と火山2 地球科学1 地球科学2 地球環境と生命の共進化
兼任	講師	清水 利明 (46) <平成30年4月>	発露から表現へ
兼任	講師	永井 久美子 (46) <平成30年4月>	(削除) 乳児保育Ⅱ
兼任	講師	岡田 朋子 (46) <平成30年4月>	(削除) 子どもの保健 子どもの健康と安全
兼任	講師	大西 将史 (39) <令和2年4月>	青年心理学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名
兼任	講師	中村 真里絵 (40) <平成30年4月>	現代東南アジア事情
兼任	講師	野村 洋平 (40) <平成30年4月>	教育社会学(小) 教育学2
兼任	講師	矢野 永実子 (38) <平成32年4月>	総合表現演習Ⅰ 総合表現演習Ⅱ
兼任	講師	木島 葉菜子 (37) <平成31年4月>	英語Ⅱ
兼任	講師	城 優香 (37) <平成32年4月>	総合表現演習Ⅰ
兼任	講師	竹内 早耶香 (36) <平成30年4月>	スポーツと健康の科学1 スポーツと健康の科学2

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名
兼任	講師	中村 真里絵 (40) <平成30年4月>	現代東南アジア事情
兼任	講師	野村 洋平 (40) <平成30年4月>	教育社会学(小) 教育学2
兼任	講師	矢野 永実子 (38) <平成32年4月>	総合表現演習Ⅰ 総合表現演習Ⅱ
兼任	講師	木島 葉菜子 (37) <平成31年4月>	英語Ⅱ
兼任	講師	城 優香 (37) <平成32年4月>	総合表現演習Ⅰ
兼任	講師	竹内 早耶香 (36) <平成30年4月>	スポーツと健康の科学1 スポーツと健康の科学2

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名
兼任	講師	中村 真里絵 (41) <平成30年4月>	現代東南アジア事情
兼任	講師	野村 洋平 (41) <平成30年4月>	教育社会学(小) 教育学2
兼任	講師	矢野 永実子 (39) <令和2年4月>	総合表現演習Ⅰ 総合表現演習Ⅱ
兼任	講師	城 優香 (41) <令和2年4月>	総合表現演習Ⅰ
兼任	講師	藤岡 知規 (38) <令和元年4月>	生命のしくみと多様性 自然と生物の科学
兼任	講師	竹内 早耶香 (37) <平成30年4月>	スポーツと健康の科学1 スポーツと健康の科学2

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名
兼任	講師	中村 真里絵 (42) <平成30年4月>	現代東南アジア事情
兼任	講師	野村 洋平 (42) <平成30年4月>	教育社会学(小) 教育学2
兼任	講師	矢野 永実子 (40) <令和2年4月>	総合表現演習Ⅰ 総合表現演習Ⅱ
兼任	講師	城 優香 (37) <令和2年4月>	総合表現演習Ⅰ
兼任	講師	藤岡 知規 (39) <令和元年4月>	生命のしくみと多様性 自然と生物の科学
兼任	講師	竹内 早耶香 (38) <平成30年4月>	スポーツと健康の科学1 スポーツと健康の科学2

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名
兼任	講師	中村 真里絵 (43) <平成30年4月>	現代東南アジア事情
兼任	講師	野村 洋平 (43) <平成30年4月>	教育社会学(小) 教育学2
兼任	講師	野末 幸子 (43) <令和3年4月>	総合表現演習Ⅰ (別棟)
兼任	講師	中村 善介 (41) <令和3年4月>	保育内容(健康)の理論と方法
兼任	講師	竹内 早耶香 (39) <平成30年4月>	スポーツと健康の科学1 スポーツと健康の科学2
兼任	講師	金巻 祥輔 (39) <令和3年4月>	青年と社会教育
兼任	講師	阪口 千紗子 (39) <令和3年4月>	総合表現演習Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
兼任	講師	中田 千穂 (35) <平成30年4月>	兼任	講師	中田 千穂 (35) <平成30年4月>	兼任	講師	中田 千穂 (36) <平成30年4月>	兼任	講師	中田 千穂 (39) <平成30年4月>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
		障害者スポーツ論 障害者スポーツ研究演習Ⅰ 障害者スポーツ研究演習Ⅱ 身体活動Ⅰ(障害者スポーツ) 身体活動Ⅱ(障害者スポーツ)			障害者スポーツ論 障害者スポーツ研究演習Ⅰ 障害者スポーツ研究演習Ⅱ 身体活動Ⅰ(障害者スポーツ) 身体活動Ⅱ(障害者スポーツ) <b>生涯スポーツ・レクリエーション論</b>			障害者スポーツ論 障害者スポーツ研究演習Ⅰ 障害者スポーツ研究演習Ⅱ 身体活動Ⅰ(障害者スポーツ) 身体活動Ⅱ(障害者スポーツ) <b>(削除)</b>			障害者スポーツ論 障害者スポーツ研究演習Ⅰ 障害者スポーツ研究演習Ⅱ 身体活動Ⅰ(障害者スポーツ) 身体活動Ⅱ(障害者スポーツ) <b>(削除)</b>
兼任	講師	岡崎 沙織 (34) <平成30年4月>	兼任	講師	岡崎 沙織 (34) <平成30年4月>	兼任	講師	岡崎 沙織 (35) <平成30年4月>	兼任	講師	岡崎 沙織 (36) <平成30年4月>
		教育学1			教育学1			教育学1			教育学1
兼任	講師	見島 庸介 (31) <平成30年4月>									
		生命のしくみと多様性 自然と生物の科学									
			兼任	講師	渡野 亮介 (33) <平成30年4月>						
					東アジアの宗教文化						
			兼任	講師	古例 誠也 (30) <平成30年4月>						
					生命のしくみと多様性 自然と生物の科学						
									兼任	講師	楠井 香 (33) <令和2年4月>
											スポーツ研究演習Ⅰ スポーツ研究演習Ⅱ 身体活動Ⅰ 身体活動Ⅱ
									兼任	講師	伊藤 真 (32) <令和3年4月>
											生命のしくみと多様性 自然と生物の科学
兼任	講師	福岡 祐貴 (28) <平成31年4月>	兼任	講師	福岡 祐貴 (28) <平成31年4月>	兼任	講師	福岡 祐貴 (29) <令和元年4月>	兼任	講師	福岡 祐貴 (30) <令和元年4月>
		教育方法論(小)			教育方法論(小)			教育方法論(小)			教育方法論(小)
									兼任	講師	大高 千明 (29) <令和元年4月>
											生涯スポーツ・レクリエーション活動
									兼任	講師	大高 千明 (30) <令和元年4月>
											生涯スポーツ・レクリエーション活動
									兼任	講師	勢川 尚枝 (29) <令和2年4月>
											心理療法概論 心理療法と教育
									兼任	講師	勢川 尚枝 (30) <令和2年4月>
											心理療法概論 <b>(削除)</b>
									兼任	講師	中村 友香 (30) <令和3年4月>
											社会福祉と社会教育
									兼任	講師	奥村 康人 (29) <令和2年4月>
											青年と社会教育 社会福祉と社会教育

(注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。  
 ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。  
 ・ 「認可時又は届出時」には、設置認可時又は届出時の教員全て(兼任・兼任教員を含む。)を属年で記入してください。  
 ・ その中で、**管理職又は職員以外から変更となっている教員は本大学の属年としてください。**  
 ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る届出届出の手引き」の「教員名簿」を確認してください。  
 ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の属年**を記入してください。  
 ・ 兼任(専任教員等は専、非常・兼(研)、兼)・兼任、兼任の順に記入してください。  
 ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は過年度削除し、読めてください。



(1) ①-②担当教員表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・高瀬淳也准教授就任辞退により、原田奈名子教授に変更。
- ・共通基礎科目「人間学Ⅰ」の担当を専任教授に変更。
- ・学科専門科目「小学校教育学Ⅰ」の担当を旧学科の兼任准教授に変更。
- ・現代総合科目「探究基礎演習」の担当を専任教授に変更。
- ・共通基礎科目「人間学Ⅱ」の担当を専任教授に変更。
- ・共通基礎科目「人間学Ⅱ」の担当を旧学科の兼任准教授に変更。
- ・現代総合科目「部落史論1・2」の担当を兼任講師に変更。
- ・共通基礎科目「人間学Ⅰ」の担当を専任教授に変更。
- ・現代総合科目「発想から表現へ」の担当を兼任講師に変更。
- ・共通基礎科目「人間学Ⅰ」の担当を兼任講師に変更。
- ・学科専門科目「乳児保育」の担当を他の兼任講師に変更。
- ・共通基礎科目「学びの発見」の担当を旧学科の兼任講師に変更。
- ・共通基礎科目「英語Ⅰ」の担当を他の兼任講師に変更。
- ・現代総合科目「PC利用による表計算入門・応用」の担当を他の兼任講師に変更。
- ・学科専門科目「子どもの保健Ⅰa・b」の担当を他の兼任講師に変更。
- ・現代総合科目「生涯スポーツ・レクリエーション」の担当を兼任講師に変更。
- ・現代総合科目「東アジアの宗教文化」の担当を他の兼任講師に変更。
- ・現代総合科目「生命のしくみと多様性」「自然と生物の科学」の担当を他の兼任講師に変更。

【令和元年度】

- 【専任教員の昇格】
- 井上 摩紀 准教授→教授
- 【兼任教員の追加】
- ・学生の履修機会を増やすために履修クラスを拡張したことに伴う担当者追加：
  - 四方 保仁（兼任 准教授）、DASH SHOBHA（兼任 准教授）、赤澤 清孝（兼任 准教授）
  - ・専任担当者の担当コマ数の事情（旧学科科目の担当開講科目数の増加）により別の専任教員に担当を変更したことに伴う担当者追加：
    - 高橋 真（兼任 講師）→山本 貴子（兼任 教授）、M.J.CONWAY（兼任 講師）
    - ・兼任担当者の就任辞退に伴う担当者変更による担当者追加：西川 幸余（兼任 准教授）、井黒 忍（兼任 准教授）
- 【兼任教員の昇格】
- 喜多 恵美子 准教授→教授（18年度訂正漏れ）、三宅 伸一郎 准教授→教授（18年度訂正漏れ）、新田 智通 講師→准教授（18年度訂正漏れ）、藤田 義孝 准教授→教授、箕浦 暁雄 准教授→教授、藤元 雅文 講師→准教授
- 【兼任教員の定年退職】
- R.F.RHODES 兼任 教授→兼任 講師、朴 一功 兼任 教授→兼任 講師
- 【兼任教員の就任辞退】
- ・本人の都合による就任辞退：本多 義治、種子田 香、大西 慎也、伊村 大樹、木島 菜葉子、濱野 亮介、古俣 慎也
- 【兼任教員の追加】
- ・学生の履修機会を増やすために履修クラスを拡張したことに伴う担当者追加：桂 千草、蓮岡 修、近藤 雄生
- ・就任辞退となった兼任教員の補填：村瀬 順子、岡嶋 祥二、關 浩和、松田 美樹、岡田 律子、藤澤 知親、大高 千明
- ・2019年再課程認定申請に対応するための追加科目として新規開設したことに伴う担当者追加：倉持 祐二
- 【兼任教員の所属変更】
- 三木 彰司 兼任 講師→兼任 教授
- 【誤記訂正】
- 江森 英世 准教授→教授

【令和2年度】

- 【学部長の変更】
- 関口 敬美 教授 → 森田 裕之 教授
- 【専任教員の追加】
- 松井 鈴子 教授（退職した専任教員の補填のため）
- 【専任教員の退職】
- 田中 潤一 准教授 → 兼任（自己都合）
- 荒瀬 克己 兼任 → 退職（自己都合）
- 織田 顕祐 兼任 → 兼任（定年退職）
- 【専任教員の所属変更】
- 林 正幸 兼任 → 兼任
- 西本 祐謙 兼任 → 兼任
- 【兼任教員の昇格】
- 西本 祐謙 講師 → 准教授
- 【兼任教員の追加】
- 井上 尚美（コマ数調整のため）
- 戸次 顕彰（コマ数調整のため）
- 宮崎 健司（新規科目開講のため）
- 【兼任教員の削除】
- 木越 康（コマ数調整のため）
- 【兼任教員の退職】
- 緒摺 貞夫 兼任 → 退職（定年退職）
- 矢野 智子 兼任 → 退職（自己都合）
- 大西 将史 兼任 → 当該学部科目のみ辞退（自己都合）
- 【兼任教員の追加】
- 伊藤 文昭 採用（退職教員の補填のため）
- 奥村 旅人 当該学部科目を新たに担当（新規科目開講のため）
- 粉川 尚枝 当該学部科目を新たに担当（新規科目開講のため）
- 佐東 恒子 採用（専任教員の体調不良による担当者変更のため）
- 杉本 義美 当該学部科目を新たに担当（退職教員の補填のため）
- 筒井 香 採用（兼任教員の担当科目辞退の補填のため）
- 丹羽 徹 採用（退職教員の補填のため）
- 真城 義磨 当該学部科目を新たに担当（兼任教員のコマ数調整のため）

【令和3年度】

- 【兼任教員の昇格】
- 林 正幸 准教授 → 教授、DASH SHOBHA 准教授 → 教授、采葉 晃 准教授 → 教授、M.J.CONWAY 講師 → 准教授
- 【専任教員の所属変更】
- 井上 摩紀 専 → 兼任
- 【兼任教員の所属変更】
- 太田 智子 兼任 → 兼任
- 【専任教員の採用】
- 近江 望（前任者（専）所属変更のため）
- 【兼任教員の退職】
- 山下 憲昭（定年退職）
- 【兼任教員の担当変更】
- 山本 貴子（担当コマ数調整のため）、四方 保仁（担当コマ数調整のため）、戸次 顕彰（担当コマ数調整のため）
- 【兼任教員の担当変更】
- 佐東 恒子（定年退職）、木村 章子（自己都合による退職）、中尾 都史子（自己都合による退職）、青木 恵子（自己都合による退職）、伊藤 文昭（自己都合による退職）、佐久間 思帆（自己都合による担当辞退）、蓮岡 修（自己都合による退職）、藤澤 知親（自己都合による退職）、奥村 旅人（自己都合による担当辞退）
- 【兼任教員の追加】
- 浅若 裕彦（前任者（兼任）担当コマ数調整のため）
- 【兼任教員の追加】
- 依田 真奈美（前任者（兼任）担当辞退のため）、西田 彩（採用/前任者（兼任）退職のため）、長野 真奈（採用/前任者（兼任）担当辞退のため）、柳生 利恵（採用/前任者（兼任）退職のため）、野末 幸子（採用/前任者（兼任）担当辞退のため）、中村 泰介（採用/前任者（兼任）退職のため）、金森 謙輔（採用/前任者（兼任）担当辞退のため）、辰巳 千紗子（採用/前任者（兼任）担当辞退のため）、伊藤 真（採用/前任者（兼任）退職のため）、中村 友香（採用/前任者（兼任）担当辞退のため）

- (注) ・変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
  - ・ なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
  - ・ 不要な年度（令和元年度開設であれば平成30年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時 における設置基準上の 必要教授数
10	5
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
10	7	2	0	19	0	12	4	3	0	19	0
(11)	(6)	(2)	(0)	(19)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
12	4	3	0	19	0	12	4	3	0	19	0
[2]	[Δ3]	[1]	[0]	[0]	[0]	[2]	[Δ3]	[1]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	4	4
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{19}{19} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{4}{19} = \boxed{21.05} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
1	准教授	高瀬 淳也	H30.03	必修	小学校教育学演習Ⅲ	①	就任予定教員の家庭の事情により就任が難しくなったことによる辞退（30）			
				必修	小学校教育学演習Ⅳ	①				
				必修	卒業研究	①				
				選択	初等科教育法（体育）	①				
				選択	教科（体育）	①				
				選択	運動会実践演習	①				
				選択	基礎スポーツ・レクリエーション演習	②				
合計（D）				後任補充状況の集計（E）						
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
1	人	必修	3	科目	必修	3	科目	必修	0	科目
		選択	4	科目	選択	3	科目	選択	1	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	7	科目	計	6	科目	計	1	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）」の理由に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
1	准教授	田中 潤一	R2.03	必修	小学校教育学演習Ⅰ	①	他大学からの割愛 (R2)			
				必修	小学校教育学演習Ⅲ	②				
				必修	小学校教育学演習Ⅳ	②				
				選択	教育課程論（小）	②				
				選択	道徳教育の理論と方法（小）	①				
				選択	教職実践演習（小）	①				
				必修	卒業研究	②				
2	教授	井上 摩紀	R3.03	必修	幼児教育演習Ⅲ	①	他学部への所属変更 (R3)			
				必修	幼児教育演習Ⅳ	①				
				選択	教職実践演習（幼）	①				
				選択	保育内容（健康）の理論と方法	②				
				選択	体育（幼）	①				
				選択	運動遊び指導法	①				
				必修	卒業研究	①				
				自由	保育実習指導Ⅰ	①				
合計（F）				後任補充状況の集計（G）						
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
2	人	必修	7	科目	必修	4	科目	必修	3	科目
		選択	7	科目	選択	5	科目	選択	2	科目
		自由	1	科目	自由	1	科目	自由	0	科目
		計	15	科目	計	10	科目	計	5	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員についてに記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（D）+（F）				後任補充状況の集計（E）+（G）				
辞任等した教員数	担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）		
3	必修	10	科目	必修	7	科目	必修	0
	選択	11	科目	選択	8	科目	選択	0
	自由	1	科目	自由	1	科目	自由	0
	計	22	科目	計	16	科目	計	0

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③合計(D)+(F)}{(2) - ②設置時の計画(A)} = \frac{3}{19} = 15.78\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和2年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

1 人

- (注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		該当なし								
合計				後任補充状況の集計						
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び( )書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」
-----------------------------------------------------------------------------------------

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

学生向け情報提供システムにて学生へ周知を行った。
--------------------------

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時  (平成30年4月)	①大谷大学文学部文学科の入学定員超過の是正に努めること ②大谷大学短期大学部仏教科及び九州大谷短期大学福祉学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	留意事項 ①平成29年度の超過率が1.61倍となつてことについて、入学定員の厳格化に努め、平成30年度は0.91倍となつた。 ②大谷大学短期大学部仏教科については、その教育機能を文学部へ発展的に統合し、平成30年度より学生募集を停止することとした。 九州大谷短期大学福祉学科については、学生募集の強化に努めるも0.34倍という結果になつた。さらなる募集強化の取り組みを進めるとともに、入学定員の適正化を図るべき準備を進める。	九州大谷短期大学福祉学科については、入学者支援を含めた募集強化の取り組みを進めるとともに、入学定員の適正化を図るべき準備を進める。
設置計画履行状況 調 査 時 (平成30年)	「該当なし」		
設置計画履行状況 調 査 時 (令和元年)	「該当なし」		
設置計画履行状況 調 査 時 (令和2年)	「該当なし」		

(注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の査附行為又は査附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。

・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。

・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。

・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

<教育学部 教育学科>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
特になし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p><b>教務委員会「FD部会」</b></p> <p>全学をあげて取り組む姿勢を明確にするため、教務委員会の中にカリキュラムの検討を中心とする「教務部会」と、FD活動を中心とする「FD部会」とを2007年度に設置。FD活動とカリキュラムの連携を図りながら、取り組みを進めている。</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>本学として必要なFD活動を検討するFD部会を年4回程度開催。</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p><b>FD部会の審議及び推進事項（教務委員会規程第3条第2号）</b></p> <p>ア 教育内容及び授業方法改善のための具体案(各授業科目における「授業計画(シラバス)」の記載内容の確認を含む。)</p> <p>イ 授業評価アンケートの活用</p> <p>ウ FDIに係る研究会及び研修会の実施</p> <p>エ FDIに係る調査及び研究</p> <p>オ その他FDIに関すること</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <p><b>FD部会活動内容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新任教員向けFD研修会の実施</li> <li>・ 授業評価アンケートの活用による授業優秀賞・事情確認科目の検討、事情確認対象科目担当者への確認</li> <li>・ 授業優秀賞受賞科目の授業公開の実施</li> <li>・ 全学的な教職員向けFD研修会とミニFD研修会（教授会内研修）の実施</li> <li>・ 他大学・団体等との連携、他団体研修会等の参加及び部会内での報告</li> <li>・ 「授業計画（シラバス）」の記載内容確認及び修正が必要な科目の内容修正依頼</li> </ul> <p>b 実施方法</p> <p>全学的な研修会や授業公開については、非常勤講師も含め実施を告知。対象者が限定されるものについては、原則、対象者全員参加として呼びかけている。</p>
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

c 開催状況（教員の参加状況含む）

\*新型コロナウイルス感染拡大防止のため、政府・自治体の要請に従い、活動の一部を縮小して実施（2020年度実績）

- ・ 新任教員向けFD研修会（2020年10月7日実施）
- ・ 授業評価アンケートの活用（2020年9月17日・2021年3月17日FD部会にて検討・決定）
- ・ 授業公開の実施（2020年11月18日～12月17日に開催：対象科目4科目）
- ・ ミニFD研修会の実施（2020年11月11日開催、「シラバス作成について」）
- ・ 「授業計画（シラバス）」の記載内容の確認（2021年2月実施）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

研修会や懇話会を開催することにより、本学学生の実情を把握し、本学の教育理念や育成する学生像の共有を図り、継続的な授業改善に取り組むことの意識付けを行っている。

個々の授業担当者の資質向上を図るために、「学生による授業評価アンケート」を活用し、振り返りをおこなっている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

「学生による授業評価アンケート」を、本学の内部質保証に係るFDとして、本学の教育システムの不断の点検・改善に役立てると同時に、授業担当者が日頃の教育活動の成果を確認し、今後の授業改善の参考資料として活用するために、全学を対象に実施している。前期については、6月下旬から7月上旬に実施、後期については、12月上旬から12月中旬にかけて実施。

また、2020年度前期については、アンケート内容を「オンライン授業の実施について\_学生アンケート」と変更し実施している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

授業評価アンケート結果については、各授業担当者に科目ごとに報告される。アンケート内容は、Ⅰ. 回答者の属性 Ⅱ. 授業における受講生の取り組みについて、Ⅲ. 授業内容や担当教員の授業運営について、Ⅳ. 総合的評価、Ⅴ. 自由記述からなっており、数値やグラフにして提供している。

受講学生に対しては、学内ネットワーク上に科目ごとの評価結果を公開し、自由に閲覧できるようになっている。また、大学全体及び学部ごとの評価結果を大学HP上に公開し、社会一般からの閲覧に供している。

公開の時期は、ともに前期が9月から10月頃、後期が3月頃に公開をおこなっている。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

「該当なし」



#### (4) 自己点検・評価等に関する事項

##### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

建学の理念を仏教、殊に浄土真宗に据え、いかなる時代・社会の状況においても、自己と人間の課題を深く見つめ、人間の立脚地を考えつづける姿勢をその学びの根幹においてきた。つまり、自己の信念の確立を建学の理念として掲げ、学修、研究をすすめてきた。その達成の状況は、建学の理念、教育目標のもとに各方針、教育内容やその方法等を体系的に関連づけた体制として構築し、各学部・学科、各研究科・専攻とも学生に対する教育、研究指導を完全に実施しており、そのことは、平成27年度に公益財団法人大学基準協会による大学評価ならびに認証評価を受け、同協会の大学基準に適合していると認定された。

##### ② 自己点検・評価報告書

###### a 公表（予定）時期

- ・ 7月下旬頃

###### b 公表方法

- ・ 大学運営会議構成員（各学部・研究科長、並びに事務部長含む）に報告書を配付
- ・ 大学ホームページ上に公開

##### ③ 認証評価を受ける計画

- ・ 令和4年度に、公益財団法人大学基準協会による大学評価ならびに認証評価を受ける予定で準備を進めている。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

#### (5) 情報公表に関する事項

##### ○ 設置計画履行状況報告書（令和3年度）

a 公表予定の有無 [  有 ・  無 ]

《 aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [  調査結果公表後1ヶ月以内 ・  公表後2～3ヶ月以内 ・  公表後3ヶ月以降 ]

c 公表方法 [  ウェブサイトへの掲載 ・  その他 ( ) ]

《 aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 [ ]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト上に公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

## ○教務委員会規程

2002年3月4日 制定

### (設置)

第1条 大谷大学及び大谷大学短期大学部(以下「本学」という。)に、教育・学生支援担当副学長の教務に関する補佐機関として、教務委員会(以下「委員会」という。)を置く。

### (目的)

第2条 委員会は、教育推進室と連携し、教育課程及び教育方法等の改善を図るとともに、FD(ファカルティ・ディベロップメント)活動を推進し、もって大学教育の充実と発展を図ることを目的とする。

### (審議及び推進事項)

第3条 前条の目的を達成するために、委員会に部会を置き、次の事項について審議し、その推進にあたる。

#### (1) 教務部会

- ア 教育課程改善のための具体案
- イ 教育課程に付随する諸制度(成績評価、単位認定、進級、登録等)
- ウ 開講科目、開講形態及び履修方法
- エ その他教務に関すること。

#### (2) FD部会

- ア 教育内容及び授業方法改善のための具体案(各授業科目における「授業計画(シラバス)」の記載内容の確認を含む。)
- イ 授業評価アンケートの活用
- ウ FDに係る研究会及び研修会の実施
- エ FDに係る調査及び研究
- オ その他FDに関すること。

### (構成)

第4条 委員会は、次の者をもって構成する。

- (1) 委員長 1名
  - (2) 部会長 2名
  - (3) 委員 若干名
  - (4) 学生支援部事務部長
  - (5) 学生支援部教務課長
- 2 委員長、部会長及び委員は、本学専任教育職員のうちから教育・学生支援担当副学長が推薦する者を学長が委嘱し、任期は2年とする。ただし、再任は妨げない。
- 3 委員長は、必要と認めた場合、委員以外の者を委員会に出席させることができる。

(所管)

第5条 委員会に関する事務の所管は、学生支援部教務課とする。

(改廃)

第6条 この規程の改廃は、教授会の議を経て、学長が決定する。

付 則

この規程は、2002年4月1日から施行する。ただし、第4条第1項第3号に定める「教務部事務部長」は、2002年5月31日までは、「教務部教務課長」と読み替えるものとする。

付 則

この規程は、2007年2月13日一部改正し、2007年4月1日から施行する。

付 則

この規程は、2008年6月18日一部改正し、2008年6月1日に遡及して施行する。

付 則

この規程は、2012年2月1日に一部改正し、2012年4月1日から施行する。

付 則

この規程は、2013年2月25日に一部改正し、2013年4月1日から施行する。

付 則

この規程は、2015年3月11日に一部改正し、2015年4月1日から施行する。

付 則

この規程は、2016年3月10日に一部改正し、2016年4月1日から施行する。